



寶曆曆大雜書萬箇鏡集



寶曆雜書萬鏡

寶曆雜書萬鏡

長長野縣長

信濃國



東北圓生樹



小ハネアノ東ハアキク東チル
 西チルナノアキク東チルノ山

日月地よりさる事也方由旬
 たうつと天のこゝろ八方由旬

ちのこゝろ人の界



ちのこゝろ人の界



ちのこゝろ人の界

增補 寶曆大雜書 方方載

目録

一	日よみ六十の圖事	御年徳神の事
二	曆之次第	八将神之事
四	金神七殺之方	大將軍持刃の事
六	天一神花十方之方	曆中陰之事
八	日蝕月蝕之事	彼岸之事
十	あゝる下陰の事	祛日之事
十二	三伏日の事	九坎日之事
十四	くろ日の事	血忌日之事
十六	日專小入日の事	法用の日之事
十八	大まゝり日の事	半甚生日の事
廿	入梅小入日の事	鬼宿日之事
廿二	大不成就日の事	門出の款の事
廿四	四箇の悪日の事	不成就日悪の事
廿六	三月あゝり日の事	三年寒の方の事
廿八	日あゝり日の事	月あゝり日の事
卅	成就日の事	糸交せり年の事
卅二	天赦日之事	佛神加護日の事
卅四	夜半裁小長悪娘の事	母倉日之事
卅六	新相と名て何の事	おと裁あゝり日の事
卅八	右刀刀指袖吉日の事	お裁小悪日の事
四十		入学吉日の事

四十二 四十四 四十六 四十八 五十 五十二 五十四 五十六 五十八 六十 六十二 六十四 六十六 六十八 七十 七十二 七十四 七十六 七十八 八十 八十二 八十四 八十六 八十八

あんぢりぢり日
あいら定分月日附の夏
佛神造他よ吉日の夏
佛神造他よ吉日の夏
五姓依る他よ吉日の夏
恒立吉日の事
登成るるに忌日の事
登他つる婦の次第
造他登他よ二乃有夏
登根とふるる日の事
はあむるる事
六の長少善悪の事
男女相生付悪年の夏
男女相生の事
平産の附向の事
はちふ入日の事
お乳とるふ吉日の事
灸とる付向ひて吉日
灸せざる日の事
人神牙の也よ有夏の夏
あんぢりぢり日の事
祈禱せざる日の事
神内神外之事

四十三 四十五 四十七 四十九 五十一 五十三 五十五 五十七 五十九 六十一 六十三 六十五 六十七 六十九 七十一 七十三 七十五 七十七 七十九 八十一 八十三 八十五 八十七 八十九

あいらぢりぢりあんの夏
電わる吉日の事
神良并居るる吉日
五姓依る登他よ吉日
家はらふふ吉日の夏
門とるる吉日の事
登他日事 風日の事
井りぢりふ吉日の事
去公神在本日依て祭夏
清酌の袖の下の事
公金の時附善悪の事
是るる事
はるる性の事
男女相生に悪十悪の事
懐妊の女人常るる吉日
返死月十三日事 二玉の夏
胎心の子男女とるる夏
男女の病若悪とるる夏
生年より灸せざる月
あんぢりぢりあんの事
五姓より灸せざる日
長病日の事
むしり日の事
味増く吉日の事

九十	人を生さぬ日の事	九十一	十二時くらやうの事
九十二	知死知くらやうの事	九十三	灸治要穴之圖
九十四	日の出入の事	九十四	日月長短とある事
九十六	志不附さるの事	九十七	月の出入の事
九十八	御一代八卦守本考	九十九	有卦無卦の事
百	九曜の星くらやうの事	百一	破軍星くらやうの事
百二	指神の方の事	百三	唐尺之事
百四	十二運之事	百五	四季皇帝占の事
百六	弘法大師百目録八卦占	百七	とりのびきの事
百八	清濁流首途日之善悪	百九	矢おろしむしの事
百十	病人と家の内より出と方	百十一	爰のうらなひの事
百十二	子の節うらなひの事	百十三	人相善悪之事
百十四	三世相十干生年考	百十五	十二支生年考
百十六	生年月善悪の事	百十七	生年月善悪の事
百十八	生年月善悪の事	百十九	御改正服忌令
百廿	清濁日よるむの事	百廿一	本約畧年代記

頭書目録

一	五節のいひまの事	二	女袖のいひ
三	変端のいひ	四	懐胎十月之事
五	懐妊の内食む善悪	六	子安の符の事
七	産後養生花食むの事	八	子生さるる小傳
九	産後妙業之傳	十	雷除頌文
十一	菊妙業之傳	十二	男又姓名改字善悪
十三	女又姓名改字善悪	十四	爰の善悪と唱ふる文

日景日光 日影日光 日景日光 日影日光



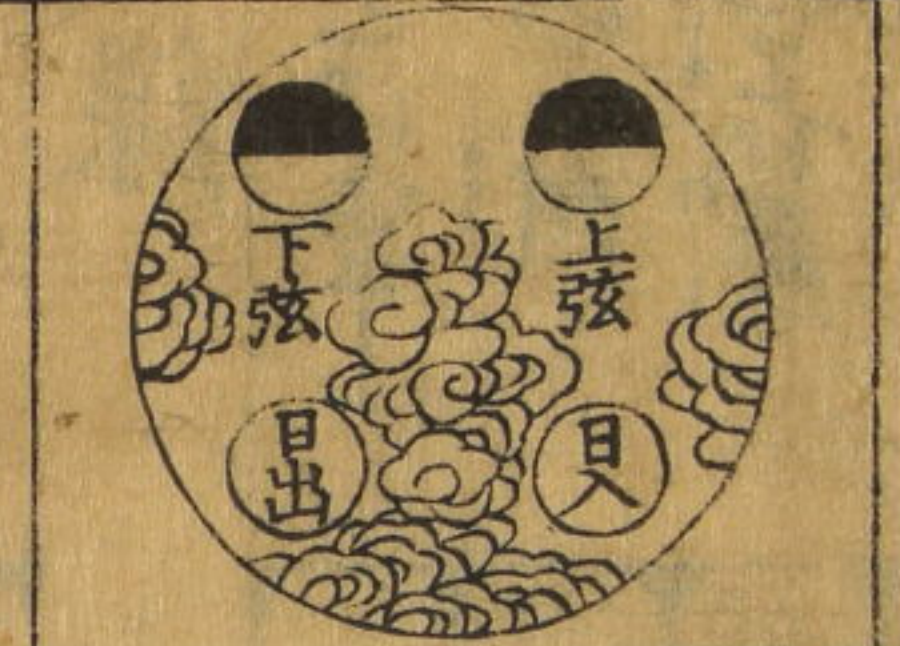
日蝕 日食 同



弦 上弦 初七 下弦 廿二

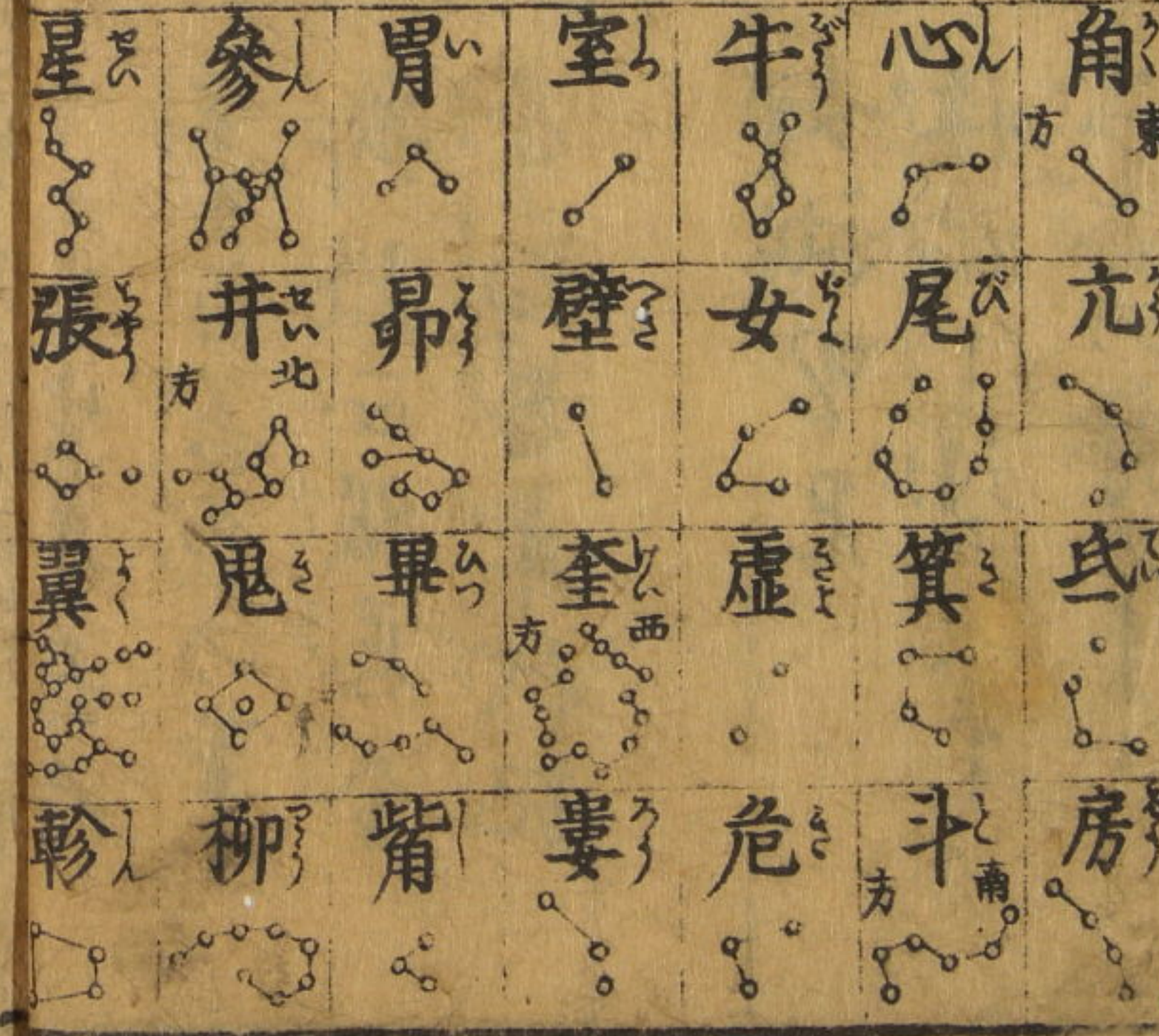


月蝕 月食 同



列宿 二十八宿 四方各七宿

本星曰歲星 火星曰熒惑 土星曰鎮星 金星曰太白 水星曰辰星



增補寶曆大雜書

一 月よと六十卦

甲子	乙丑	丙寅	丁卯	戊辰	己巳	庚午	辛未	壬申	癸酉
命	刑	德	左	命	刑	德	左	命	刑
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

甲子	子	戌	寅	申
大正	大正	大正	大正	大正
午	辰	寅	子	戌
申	午	辰	寅	子

子ね
子ね
子ね
子ね
子ね

戌
戌
戌
戌
戌

辰
辰
辰
辰
辰

亥
亥
亥
亥
亥

巳
巳
巳
巳
巳

卯
卯
卯
卯
卯

未
未
未
未
未

酉
酉
酉
酉
酉

申
申
申
申
申

辰
辰
辰
辰
辰

酉
酉
酉
酉
酉

戌
戌
戌
戌
戌

卯
卯
卯
卯
卯

未
未
未
未
未

酉
酉
酉
酉
酉

申
申
申
申
申

卯
卯
卯
卯
卯

未
未
未
未
未

寅
寅
寅
寅
寅

午
午
午
午
午

巳
巳
巳
巳
巳

未
未
未
未
未

寅
寅
寅
寅
寅

午
午
午
午
午

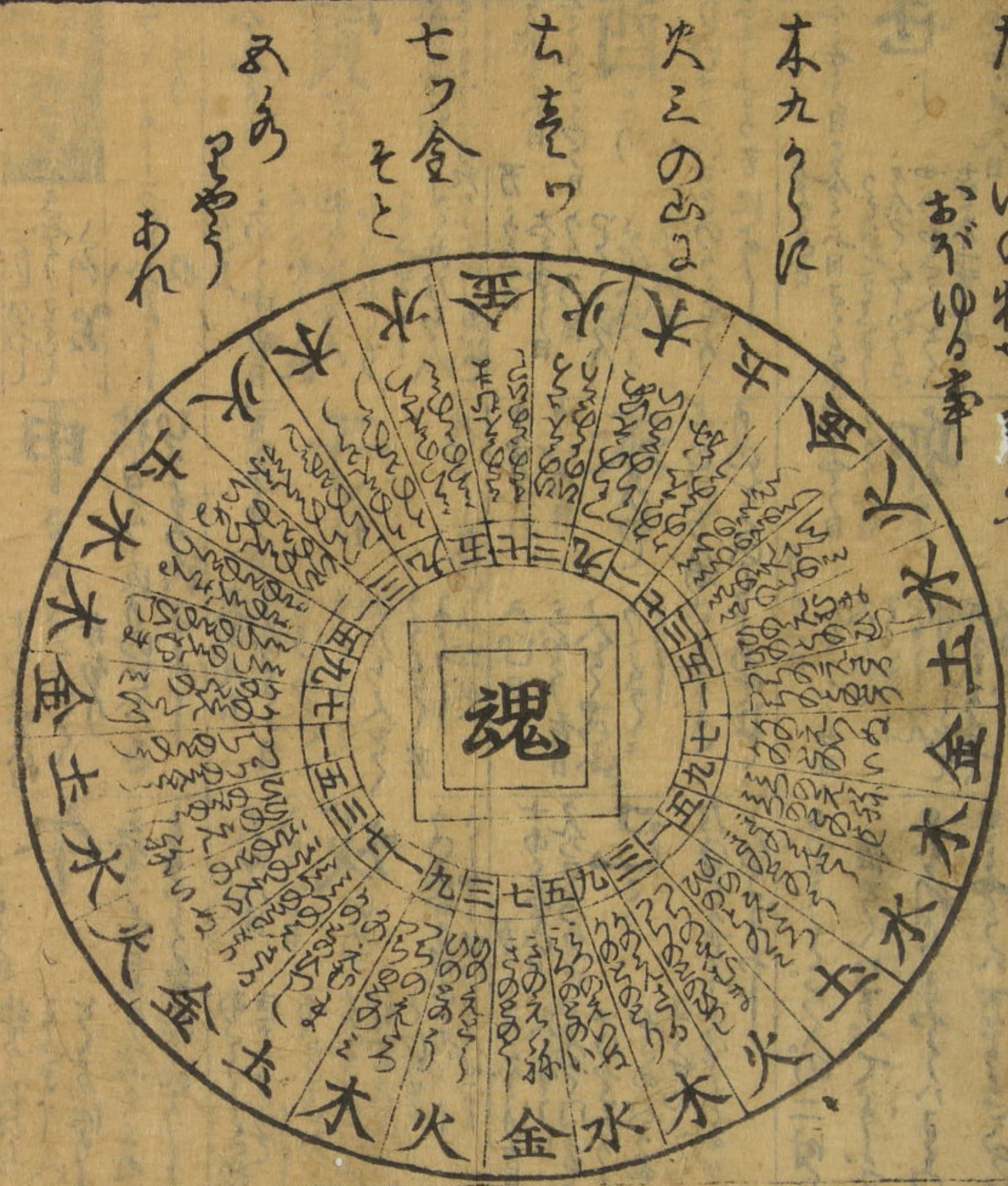
巳
巳
巳
巳
巳

子ね
子ね
子ね
子ね
子ね

巳
巳
巳
巳
巳

亥
亥
亥
亥
亥

たましいのねとあまの
おがゆる事



十二月い
正月孟春 大蔭
二月仲春 快鐘
三月季春 如洗
四月孟夏 仲呂
五月仲夏 避暑
六月季夏 林鍾
七月孟秋 夷則
八月仲秋 南呂
九月季秋 無射
十月孟冬 應鐘
十一月仲冬 黃鐘
十二月季冬 大呂

三徳宝珠



三徳宝珠の事

その外宝珠は万宝と云ふは徳外多かれは此
地方よりいふを方徳といひて其の徳は此
成徳なる也宝珠なるは唐の徳と云ふなり

○清徳神之事

年徳神と云ふは頗利采女とも橘田姫ともいふて
南海の妙女なり是年頭天王の座八徳神は此母あり
容貌美素めして慈悲業神は神カレはめくとも
つゝその人此徳神の方ふめがせは此は方と云ふなり
此を大明の方と云ふ事小用ひて大吉祥の方なり

○年徳神の方の事

- 九 此年八東の人のいふ事
- 七 此年八南の人のいふ事
- 五 此年八中つちの人のいふ事
- 三 此年八北の人のいふ事
- 一 此年八西の人のいふ事

あまの神



あまの神



あまの神



あまの神



あまの神



あまの神



あまの神



あまの神



あまの神



八将神の事

平教天皇の八王の御事

●第一太素神 又熱光天皇の地素神也 又素戔嗚乃 乃持の御方 万事不用の事 徳神也 御事 乃持の御方 万事不用の事 徳神也 御事

●第二大御神 又天孫地他化自在天 又白皇乃 精なり 御方 万事不用の事 徳神也 御事 乃持の御方 万事不用の事 徳神也 御事

●第三大御神 又天孫地他化自在天 又白皇乃 精なり 御方 万事不用の事 徳神也 御事 乃持の御方 万事不用の事 徳神也 御事

●第四大御神 又天孫地他化自在天 又白皇乃 精なり 御方 万事不用の事 徳神也 御事 乃持の御方 万事不用の事 徳神也 御事

●第五大御神 又天孫地他化自在天 又白皇乃 精なり 御方 万事不用の事 徳神也 御事 乃持の御方 万事不用の事 徳神也 御事

○五箇めのり

正月七日 ころもろもろ
け日七まのうもとま
まのこ七くまのま
まのまのこまのま
まのまのこまのま
まのまのこまのま
まのまのこまのま
まのまのこまのま

三月三日 ののの

ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの

け日美のどととととと
年中の邪氣をよこす
まのまのまのまのま
まのまのまのまのま
まのまのまのまのま
まのまのまのまのま
まのまのまのまのま
まのまのまのまのま

ひののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの

七月七日 七夕まつり

ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの
ののののののののの

梅のうきをやま 自中のあごとするゆへに 辛辰天皇
八拾神と流りておたのしけぬは 巨且の金持なるか
まの金持なるか 七拾のまのまのまのまのま
方とふるまふ七のまのまのまのまのまのま
らぬゆりのまのまのまのまのまのまのま
なまのまのまのまのまのまのまのまのま
金神七殺の方

この入はちれのまのまのまのまのまのま
まのまのまのまのまのまのまのまのま
ひのまのまのまのまのまのまのまのま
ひのまのまのまのまのまのまのまのま
ひのまのまのまのまのまのまのまのま
ひのまのまのまのまのまのまのまのま
ひのまのまのまのまのまのまのまのま
ひのまのまのまのまのまのまのまのま

己日おひのまのまのまのまのまのま
まのまのまのまのまのまのまのまのま
あまのまのまのまのまのまのまのまのま
日まのまのまのまのまのまのまのまのま
まのまのまのまのまのまのまのまのま
まのまのまのまのまのまのまのまのま
まのまのまのまのまのまのまのまのま
まのまのまのまのまのまのまのまのま

六

天一神 天一天皇のまのまのまのまのま
まのまのまのまのまのまのまのまのま
あまのまのまのまのまのまのまのまのま
神とまのまのまのまのまのまのまのま

Handwritten text on the top page of the left-hand page, including the date '十月' (October).

Main handwritten text on the bottom page of the left-hand page, starting with '社日之事' (Society Day Matters) and '二伏日の事' (Matters of the Second Utsunomiya).

Handwritten text on the top page of the right-hand page, including the date '十一月' (November).

Main handwritten text on the bottom page of the right-hand page, including the date '十一月' (November).

あひてしうさわを

いかにあつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

九次目の事

あつてしうさわのやうに九つはなりの甲のすまを
ち九次星と名はくそのりけ極氣は日方あり
あつてしうさわのやうに六七七八九十十一十二
十三十四十五十六十七十八十九二十二十一

十次目の事

あつてしうさわのやうに十つはなりの乙のすまを
あつてしうさわのやうに七七八九十十一十二
十三十四十五十六十七十八十九二十二十一

十一次目の事

あつてしうさわのやうに十一つはなりの丙のすまを
あつてしうさわのやうに六七八九十十一十二
十三十四十五十六十七十八十九二十二十一

十二次目の事

あつてしうさわのやうに十二つはなりの丁のすまを
あつてしうさわのやうに五七八九十十一十二
十三十四十五十六十七十八十九二十二十一

あつてしうさわのやうに十三つはなりの戊のすまを

十三次目の事

あつてしうさわのやうに十四つはなりの己のすまを
あつてしうさわのやうに四七八九十十一十二
十三十四十五十六十七十八十九二十二十一

十四次目の事

あつてしうさわのやうに十五つはなりの庚のすまを
あつてしうさわのやうに三七八九十十一十二
十三十四十五十六十七十八十九二十二十一

十五次目の事

あつてしうさわのやうに十六つはなりの辛のすまを
あつてしうさわのやうに二七八九十十一十二
十三十四十五十六十七十八十九二十二十一

十六次目の事

あつてしうさわのやうに十七つはなりの壬のすまを
あつてしうさわのやうに一七八九十十一十二
十三十四十五十六十七十八十九二十二十一

十七次目の事

あつてしうさわのやうに十八つはなりの癸のすまを
あつてしうさわのやうに〇七八九十十一十二
十三十四十五十六十七十八十九二十二十一

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

あつてしうさわ

○懐疑の事

をいそぐといふ人の
經あるはる月より十月
めを三月とせらる

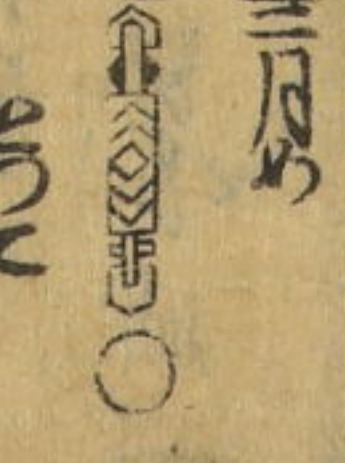
一月めと医書は、
杖の形乃、
不効の事

二月めと医書は、
佛書は、
杖の形乃、
不効の事



佛書は、
杖の形乃、
不効の事

佛書は、
杖の形乃、
不効の事



三月めハ三珠の
文珠の



四月めハ五結の
普賢乃



五月めハ人形の
そま地蔵の
うけりま

うまう月らうー中月天大月地大月

く月おのいひりりいひりいひり
うまうー上の大者さん

廿 鬼宿日とて月より一日大者日の中

廿一 入梅は也いひりり

廿二 入梅は也いひりり

廿三 入梅は也いひりり

廿四 入梅は也いひりり

廿五 入梅は也いひりり

廿六 入梅は也いひりり

廿七 入梅は也いひりり

廿八 入梅は也いひりり

廿九 入梅は也いひりり

三十 入梅は也いひりり

三十一 入梅は也いひりり

三十二 入梅は也いひりり

三十三 入梅は也いひりり

三十四 入梅は也いひりり



六月の

弥勒菩薩



七月の

地藏菩薩



八月の

観世音菩薩



九月の

勢至菩薩



十月の

阿彌陀菩薩



とけりてあひてくる
 おろも世のこもあ
 つる也くしのあ女の
 中その月くの佛と
 あんぐくもなまら
 おろも世のこもあ
 十月の胎内形

春三月ひる夏三月みど秋三月あき冬三月ふゆ

廿月おどろの事

己酉五月二十一日ひる二十七日おどろ

巳酉五月二十一日ひる二十七日おどろ

己酉五月二十一日ひる二十七日おどろ

十廿十三 廿六廿 廿七廿 五十二廿 廿六廿九廿 七廿

在りていふ合ある

佛祓か獲日の事

天赦日の事

春の日の日 夏の日の日 秋の日の日 冬の日の日

天赦日の事

春の日の日 夏の日の日 秋の日の日 冬の日の日
 天赦日の事
 申の日の日 申の日の日 申の日の日 申の日の日
 の日 申の日の日 申の日の日 申の日の日

母念日の事

春の日の日 夏の日の日 秋の日の日 冬の日の日
 母念日の事
 申の日の日 申の日の日 申の日の日 申の日の日

たもつさくつげ
 どのうきとびうを
 ○産後宣りくぬ指
 一まびうりまび
 たでいもそを
 さんまぐあはむ
 こやうえんちさ
 のづきすさけ
 一ぶ本のこくぐ指
 みるひん抱めんを
 ○子まればあまが
 伊勢といふ字を
 一ひびくまを
 人尹生たかど
 あれを神力のま
 くまのまを
 一産婦の右乃良井小
 のとがりよ米つ
 て三娘産ま
 の産後ま
 生れて平産ま
 子まのうらに
 一産かたぐま
 産飯川草蓋母
 つまむき若月若

四 人のまをうりて産後くろくまの事
 木性の人 木の葉をうりて産後くろくまの事
 火性の人 火の葉をうりて産後くろくまの事
 土性の人 土の葉をうりて産後くろくまの事
 金性の人 金の葉をうりて産後くろくまの事
 水性の人 水の葉をうりて産後くろくまの事
五 人のまをうりて産後くろくまの事
 木性の人 木の葉をうりて産後くろくまの事
 火性の人 火の葉をうりて産後くろくまの事
 土性の人 土の葉をうりて産後くろくまの事
 金性の人 金の葉をうりて産後くろくまの事
 水性の人 水の葉をうりて産後くろくまの事

五 家のまをうりて産後くろくまの事
 木性の人 木の葉をうりて産後くろくまの事
 火性の人 火の葉をうりて産後くろくまの事
 土性の人 土の葉をうりて産後くろくまの事
 金性の人 金の葉をうりて産後くろくまの事
 水性の人 水の葉をうりて産後くろくまの事

五 門のまをうりて産後くろくまの事
 木性の人 木の葉をうりて産後くろくまの事
 火性の人 火の葉をうりて産後くろくまの事
 土性の人 土の葉をうりて産後くろくまの事
 金性の人 金の葉をうりて産後くろくまの事
 水性の人 水の葉をうりて産後くろくまの事
五 産後くろくまの事
 木性の人 木の葉をうりて産後くろくまの事
 火性の人 火の葉をうりて産後くろくまの事
 土性の人 土の葉をうりて産後くろくまの事
 金性の人 金の葉をうりて産後くろくまの事
 水性の人 水の葉をうりて産後くろくまの事
 表二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月
 秋三月 冬三月

又おろしうすおけい

太務にてほす用す

子たる肉まで煮ゆる

煮婦の志こころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

○あまのつごころ

五 正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

正月の事

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

六

らしたちやとびやと

あまげけちうらや

あづきやうやう

○まねのまねのまね

子の子の子の子の子

かかんかんかんかんかん

えんえんえんえんえん

ひののののの

又五香湯丸ひして

又まねのまねのまね

たにまをせんとあま

をまねのまねのまね

ちのまねのまね

ちのまねのまね

○雷鳴時乃領文

東方二 阿伽多

南方二 利帝魯

西方二 須陁光

北方二 蕪陁摩居

右雷王乃は名なまなりけ

居野の四方はしつと

をいふはまねのまね

○人鬼ころす時のま

かきあてていれまねた

まねのまねのまね

ののののの

男びつておまねのまね

女にまねのまねのまね

まねのまね

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

月の日 月まてて

○ぬき用ひのまじま

まろ犬志ん

中ら

大のいあまてうのま

むいあまのまじま

むいあまのまじま

○藤原のまじま

ハハハハハハハハハハハハ

ハハハハハハハハハハハハ

○田原のまじま

田原のまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

イロハハハハハハハハハハ

フクリ

まじまのまじま

まじまのまじま

○たじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

ひのえらひののり

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

まじまのまじま

人からとらふ事なまを
べしとておぼしむ

八才十七才廿五才甲子
五才三才六才二十才十才

八十才 乙の年三里は
養老のいふもて病

さうして後さうく
むらじにうへ

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

○養乃あていふもて
さうしてさうく

さうしてさうくあり

一はらのえさるつちたものあり 大性いふはたなを
を祀つて神神ははるまのありつらうつらうと事

但去月おのていふ

かのえいぬうのれい 今性いふ今入のれぬこれ今と
祀さうつらう今あせつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 本性いふはらひちの本さうれ
本祀さうつらうつらうとていふことあり

かよけおしつらう

一はらのえさるつちたものあり 水性いふは水のあつ祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 土性いふは土のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 火性いふは火のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 風性いふは風のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 木性いふは木のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 水性いふは水のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 土性いふは土のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 火性いふは火のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 風性いふは風のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 木性いふは木のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 水性いふは水のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 土性いふは土のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 火性いふは火のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 風性いふは風のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

一はらのえさるつちたものあり 木性いふは木のよれと祀さう
はあつらうつらうとていふことあり

男女の事

男女の事

男女の事

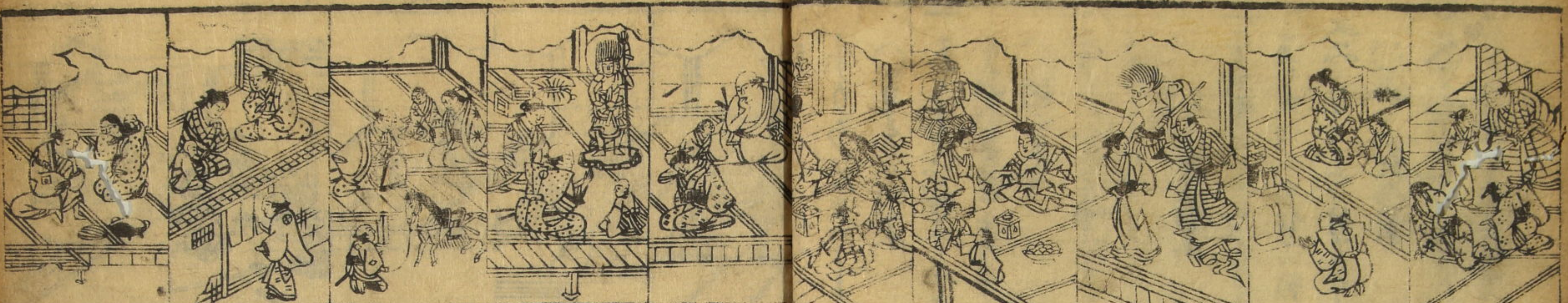
男女の事

男女の事

男女の事

男女の事

男女の事



男本女全をドもありののちをわい二人のあはれ
 した世のしんてくせ川をよあはれ
 あよ 日か世アうなまの人のあすむれ
 ちん川のたうらあがりうねむ

男本女本始のり後まじり借五人のあ人あはれ
 けりてはゆんせんあてあうりあはれ
 あよ ちんああるくもあはれあやま
 いがさのうちとこのむむかあを

男本女生子三人の女あわんあはれあはれ
 こしありうきやとけはけりうき
 あよ あひらめしとのこもなうりせば
 とみとつりとおりのあはれ

男本女炎子四人の三人のあはれあはれ
 としたあはれあはれあはれあはれ
 あり いあへのいうあはれあはれ
 おゆあまうなるすあはれあはれ

男本女水子五人のあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ

男本女大子五人のあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ

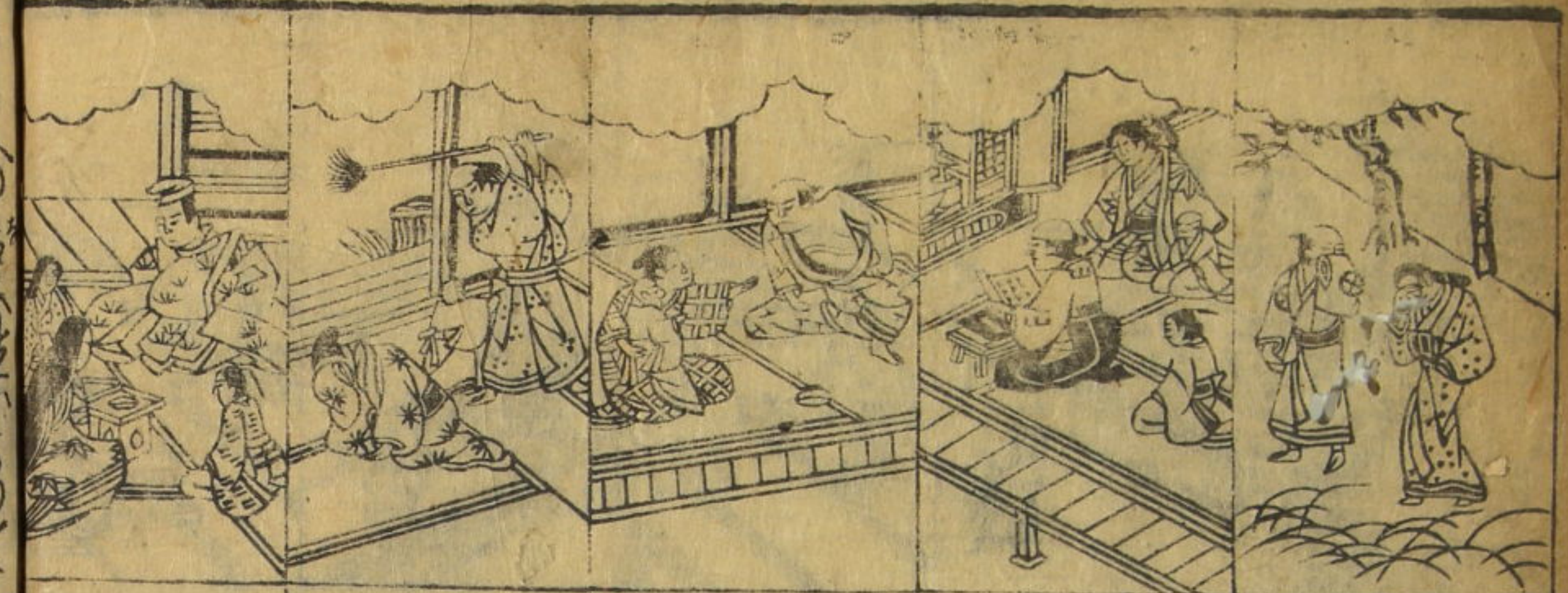
男本女大子五人のあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ

男本女大子五人のあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ

男本女大子五人のあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ

男本女大子五人のあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ

男本女大子五人のあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれ



○人の名又性ありて
 文字の苦難の事

平理殿文倣派
 八世哉本門
 興形百兵衛

右はまゝか水あゝるま
 なり本姓の人全姓の人
 行そゝあ姓の人あはた

仁者徳澤新
 愚外二六太長
 傳伸貞林松竹
 大園徳器秋良
 右はまゝか水あゝるま
 なり本姓の人全姓の人
 行そゝあ姓の人あはた

男水 女水守者子八人ありてうち三つをまうりてはし
 たぐい切んあてりちまうりてはし
 あり
 まのねまをなまごのゆへまうりてはし
 あまられのべさう入るうありてはし

男水 女本おやまゝあゝるまゝ三人ありてはし
 たぐいあまつまゝあゝるまゝのまゝありてはし
 あり
 あり
 あり

男水 女大まゝあゝるまゝあゝるまゝ三人ありてはし
 あり
 あり
 あり

男水 女夫まゝあゝるまゝあゝるまゝ三人ありてはし
 あり
 あり
 あり

男水 女金大まゝあゝるまゝあゝるまゝ三人ありてはし
 あり
 あり
 あり

女 人平さんのあゝるまゝあゝるまゝ三人ありてはし
 あり
 あり
 あり

六月のあゝるまゝあゝるまゝ十二月のあゝるまゝあゝるまゝ
 あり
 あり
 あり

つぎのあゝるまゝあゝるまゝあゝるまゝあゝるまゝ
 あり
 あり
 あり

あゝるまゝあゝるまゝあゝるまゝあゝるまゝ
 あり
 あり
 あり

あゝるまゝあゝるまゝあゝるまゝあゝるまゝ
 あり
 あり
 あり

養赤松劫久春
又九歳加毒
熊角系磯金條
養定
右は字をよまはるる事
なり夫姓の人分て去
本姓の分てハ字を去

市俵次宗致
池谷松依孫三
日七十歳
正真宗辰巳丑
娘初を興

右は字をよまはるる事
なり夫姓の人分て去
本姓の分てハ字を去

保松森守又
新虎友右
和嘉恒信

右は字をよまはるる事
なり夫姓の人分て去
本姓の分てハ字を去

⑤ 女五姓名の最取
權茂伴武
成教新藤
源齋柳品包
次藤栗松ハ
極藤藤野

⑤ 養赤松の中おまはるる事
お乳あるは日
右は字をよまはるる事
なり夫姓の人分て去
本姓の分てハ字を去

⑤ 養赤松の中おまはるる事
お乳あるは日
右は字をよまはるる事
なり夫姓の人分て去
本姓の分てハ字を去

⑤ 養赤松の中おまはるる事
お乳あるは日
右は字をよまはるる事
なり夫姓の人分て去
本姓の分てハ字を去

⑤ 養赤松の中おまはるる事
お乳あるは日
右は字をよまはるる事
なり夫姓の人分て去
本姓の分てハ字を去

⑤ 養赤松の中おまはるる事
お乳あるは日
右は字をよまはるる事
なり夫姓の人分て去
本姓の分てハ字を去

御禮 御禮 御禮
研行様

本姓の人は
金姓の人は吉

田 田の田の田の田



田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田

田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田

田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田

田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田

田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田

田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田

田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田

田 田の田の田の田

田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田

田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田

田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田

田 田の田の田の田
田 田の田の田の田
田 田の田の田の田

○ 養をてかきまらる日

一月 卯し 子年卯酉
 二月 辰し 丑年辰戌
 三月 巳し 寅年巳亥
 四月 午し 丑年辰戌
 五月 未し 子年卯酉
 六月 申し 丑年辰戌
 七月 酉し 寅年巳亥
 八月 戌し 卯年辰戌
 九月 亥し 辰年巳亥
 十月 子し 卯年辰戌
 十一月 丑し 寅年巳亥
 十二月 寅し 丑年辰戌
 大の月よきゆあり
 さゆあふりたる日

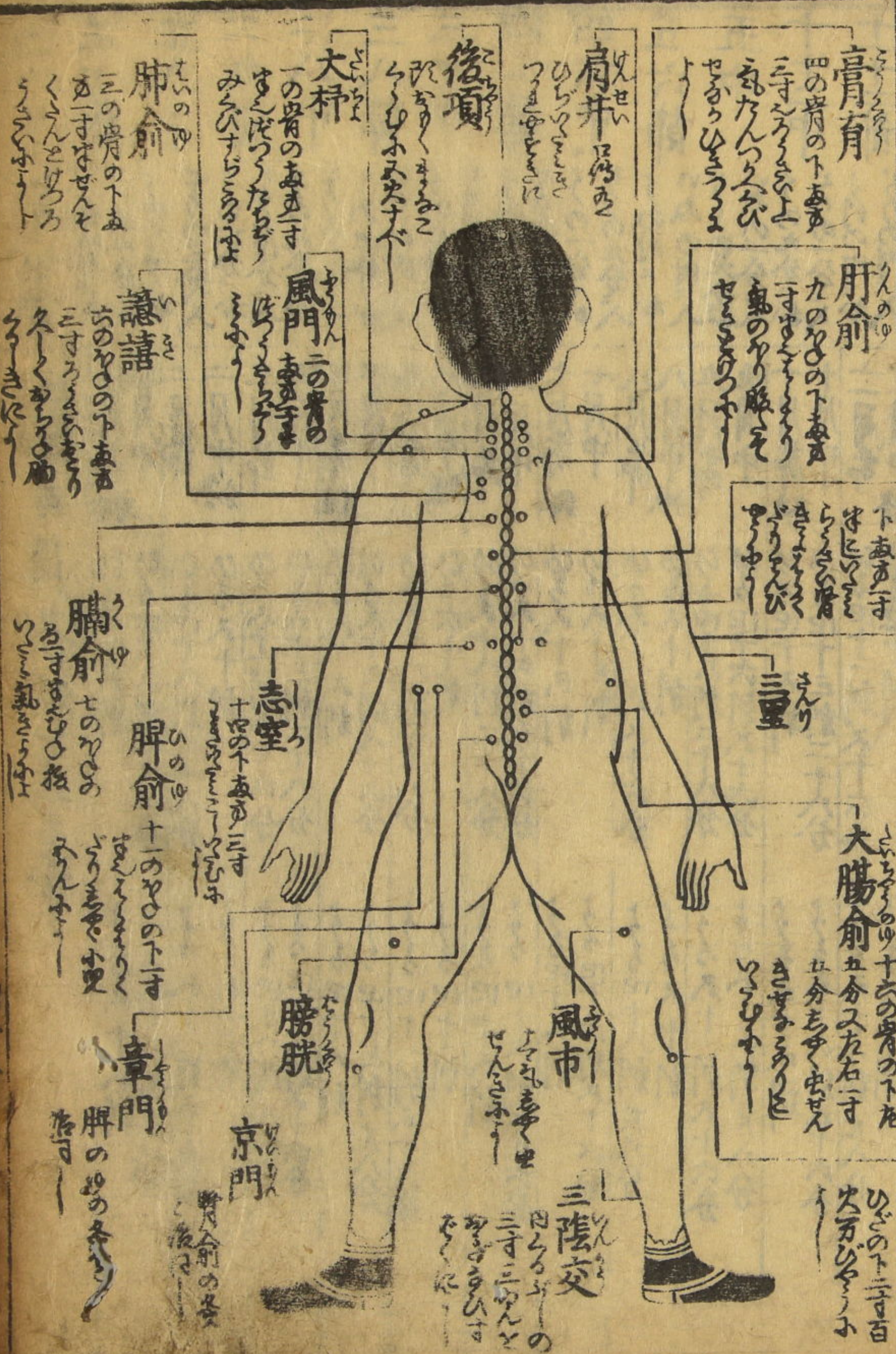
○ 卒 人をあさぬ日の事

夏三月の初日の初日をいひ日一人あせハ七人いつる
 秋三月の初日の初日をいひ日一人あせハ九人いつる
 冬三月の初日の初日をいひ日一人あせハ九人いつる
 十二時のころの事

わさハツウ わさみツウ ひるハツと ひる九ツむま
 ひるハツひし ひるセツウ くれハツウ ひる八ツむま
 うるハツい うる九ツむま くれハツウ ひる八ツむま
 うるハツい うる九ツむま くれハツウ ひる八ツむま
 うるハツい うる九ツむま くれハツウ ひる八ツむま

上 一三九 子年卯酉 中 二二九 丑未辰戌 下 三九 寅申巳亥
 十日 三二八 戌未辰戌 十日 三二八 寅申巳亥 十日 三二八 子年卯酉
 卯 六七八 寅申巳亥 卯 六七八 子年卯酉 卯 六七八 戌未辰戌

○ 灸灸治要穴圖



膏育 四の背の下 三寸の背の上

肝俞 九の背の下 三寸の背の上

腎俞 十の背の下 三寸の背の上

大腸俞 五の背の下 三寸の背の上

三陰交 足の背の下 三寸の背の上

肩井 肩の背の下

後項 項の背の下

大杼 二の背の下

風門 二の背の下

肺俞 三の背の下

臑門 二の背の下

臑門 七の背の下

脾俞 十一の背の下

章門 脾の背の下

膀胱 膀胱の背の下

京門 京門の背の下

風市 風市の背の下

三陰交 三陰交の背の下

九十四日乃お入の事

正十節	うの八分お
正九中	うの七分お
二九節	うの六分お
二八中	うの五分お
三八節	うの四分お
三七中	うの三分お
四七節	うの二分お
四六中	うの一分お
五六節	うの十分お
五中	うの九分お
十二中	うの八分お
十二節	うの七分お
十一中	うの六分お

九十五日 日月長短とある事

正月節	ひる四十二刻	ひる四十二刻
正月中	ひる四十六刻五十六分	ひる四十三刻九分
二月節	ひる四十八刻二十八分	ひる四十一刻五十六分
二月中	ひる五十二刻	ひる四十八刻九分
三月節	ひる五十一刻五十六分	ひる四十六刻五十六分
三月中	ひる五十三刻二十八分	ひる四十二刻
四月節	ひる五十二刻	ひる四十一刻五十六分
四月中	ひる五十六刻五十六分	ひる三十八刻九分
五月節	ひる五十八刻二十八分	ひる四十二刻
五月中	ひる六十二刻	ひる四十六刻五十六分
六月節	ひる六十一刻二十八分	ひる四十一刻五十六分
六月中	ひる六十六刻五十六分	ひる三十八刻九分
七月節	ひる六十二刻	ひる四十二刻
七月中	ひる六十六刻五十六分	ひる三十九刻
八月節	ひる六十一刻五十六分	ひる四十一刻五十六分
八月中	ひる六十六刻五十六分	ひる三十八刻九分
九月節	ひる六十二刻	ひる四十二刻
九月中	ひる六十六刻五十六分	ひる三十九刻
十月節	ひる六十一刻五十六分	ひる四十一刻五十六分
十月中	ひる六十六刻五十六分	ひる三十八刻九分
十一月節	ひる六十二刻	ひる四十二刻
十一月中	ひる六十六刻五十六分	ひる三十九刻
十二月節	ひる六十一刻五十六分	ひる四十一刻五十六分
十二月終	ひる六十六刻五十六分	ひる三十八刻九分

月の出入乃箇

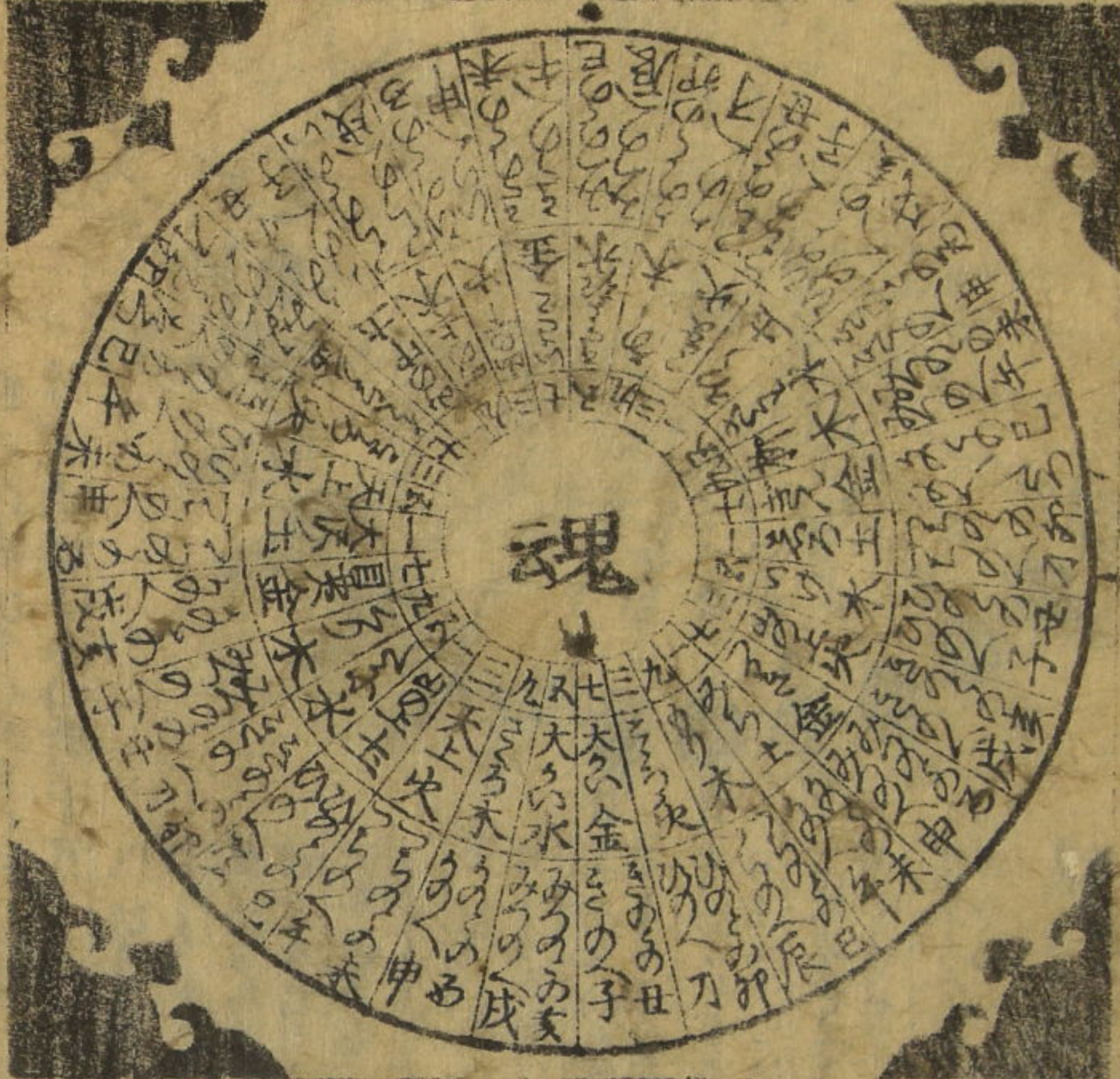


朔	ひる四十二刻	ひる四十二刻
上弦	ひる四十六刻五十六分	ひる四十三刻九分
望	ひる四十八刻二十八分	ひる四十一刻五十六分
下弦	ひる五十二刻	ひる四十八刻九分
晦	ひる五十一刻五十六分	ひる四十六刻五十六分
朔	ひる五十三刻二十八分	ひる四十二刻
上弦	ひる五十二刻	ひる四十一刻五十六分
望	ひる五十六刻五十六分	ひる三十八刻九分
下弦	ひる五十八刻二十八分	ひる四十二刻
晦	ひる六十二刻	ひる四十六刻五十六分
朔	ひる六十一刻二十八分	ひる四十一刻五十六分
上弦	ひる六十六刻五十六分	ひる三十八刻九分
望	ひる六十二刻	ひる四十二刻
下弦	ひる六十六刻五十六分	ひる三十九刻
晦	ひる六十二刻	ひる四十一刻五十六分
朔	ひる六十六刻五十六分	ひる三十八刻九分
上弦	ひる六十二刻	ひる四十二刻
望	ひる六十六刻五十六分	ひる三十九刻
下弦	ひる六十一刻五十六分	ひる四十一刻五十六分
晦	ひる六十六刻五十六分	ひる三十八刻九分

御一代八卦

一代あり奉るの事

子 丑 卯 辰 巳 午 未 酉 戌
 子 丑 卯 辰 巳 午 未 酉 戌



魂

木性

うりいぬい糸しどろ
 うこれし移今けし
 たりびまいつし
 これいぬいむけさる
 糸しどろうろこま
 られい七ひんけ
 ひしこかたりぬい
 られいぬいむけさる
 ひまひしどろいぬい
 られいぬいむけさる
 ししどろいぬい

火性

うりいぬい糸しどろ
 うこれし移今けし
 たりびまいつし
 これいぬいむけさる
 糸しどろうろこま
 られい七ひんけ
 ひしこかたりぬい
 られいぬいむけさる
 ひまひしどろいぬい
 られいぬいむけさる
 ししどろいぬい

土性

うりいぬい糸しどろ
 うこれし移今けし
 たりびまいつし
 これいぬいむけさる
 糸しどろうろこま
 られい七ひんけ
 ひしこかたりぬい
 られいぬいむけさる
 ひまひしどろいぬい
 られいぬいむけさる
 ししどろいぬい

金性

うりいぬい糸しどろ
 うこれし移今けし
 たりびまいつし
 これいぬいむけさる
 糸しどろうろこま
 られい七ひんけ
 ひしこかたりぬい
 られいぬいむけさる
 ひまひしどろいぬい
 られいぬいむけさる
 ししどろいぬい

水性

うりいぬい糸しどろ
 うこれし移今けし
 たりびまいつし
 これいぬいむけさる
 糸しどろうろこま
 られい七ひんけ
 ひしこかたりぬい
 られいぬいむけさる
 ひまひしどろいぬい
 られいぬいむけさる
 ししどろいぬい



八卦あり初なる人の
 足るたれまらりか
 しつわたり

眞尊元年 世又兼より数し
 世又兼より数し 人下候の生れ
 〇 世又兼より後

右八海永七 是上候の心なり
 左八海永七 是上候の心なり
 世又兼より後

まの初なる人の足るたれまらりか
 しつわたり

御一代八卦廻次第

男女上階の生れ分

子寅辰午申戌 丑卯巳未酉亥 歲

男 之 分 男 之 分

離中斷	坤皆斷	兌上斷	乾皆連	坎中連	艮上連	震下連	巽下斷
一爻	二爻	三爻	四爻	五爻	六爻	七爻	八爻
十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三
廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	三十	三十一
三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五
五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五
七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五
九十八	九十九	一百	一百一	一百二	一百三	一百四	一百五

子寅辰午申戌 丑卯巳未酉亥 歲

女 之 分 女 之 分

離中斷	坤皆斷	兌上斷	乾皆連	坎中連	艮上連	震下連	巽下斷
一爻	二爻	三爻	四爻	五爻	六爻	七爻	八爻
十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三
廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	三十	三十一
三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五
五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五
七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五
九十八	九十九	一百	一百一	一百二	一百三	一百四	一百五

右の年級等にて上卦と見合われば八卦の流儀を个

坤一卦八卦廻次

男女中終生れの分

四十四

子寅辰午申戌歳

男之分

離中斷	二	九	七	七	三	三	九	九	六	六
坤皆斷大日	三	十	八	六	六	四	三	八	八	六
兌上斷	四	十	九	七	七	四	三	九	九	七
乾皆連	五	十	二	八	六	四	二	六	六	八
坎中連	六	十	九	七	七	四	三	九	九	七
艮上連	七	十	九	七	七	四	三	九	九	七
震下連	八	十	九	七	七	四	三	九	九	七
巽下斷	九	十	九	七	七	四	三	九	九	七
離中斷	十	十	九	七	七	四	三	九	九	七
坤皆斷大日	十一	十	九	七	七	四	三	九	九	七
兌上斷	十二	十	九	七	七	四	三	九	九	七
乾皆連	十三	十	九	七	七	四	三	九	九	七
坎中連	十四	十	九	七	七	四	三	九	九	七
艮上連	十五	十	九	七	七	四	三	九	九	七
震下連	十六	十	九	七	七	四	三	九	九	七
巽下斷	十七	十	九	七	七	四	三	九	九	七

丑卯己未酉亥歳

男之分

離中斷	二	九	七	七	三	三	九	九	六	六
坤皆斷大日	三	十	八	六	六	四	三	八	八	六
兌上斷	四	十	九	七	七	四	三	九	九	七
乾皆連	五	十	二	八	六	四	二	六	六	八
坎中連	六	十	九	七	七	四	三	九	九	七
艮上連	七	十	九	七	七	四	三	九	九	七
震下連	八	十	九	七	七	四	三	九	九	七
巽下斷	九	十	九	七	七	四	三	九	九	七
離中斷	十	十	九	七	七	四	三	九	九	七
坤皆斷大日	十一	十	九	七	七	四	三	九	九	七
兌上斷	十二	十	九	七	七	四	三	九	九	七
乾皆連	十三	十	九	七	七	四	三	九	九	七
坎中連	十四	十	九	七	七	四	三	九	九	七
艮上連	十五	十	九	七	七	四	三	九	九	七
震下連	十六	十	九	七	七	四	三	九	九	七
巽下斷	十七	十	九	七	七	四	三	九	九	七

子寅辰午申戌歳

女之分

離中斷	二	九	七	七	三	三	九	九	六	六
坤皆斷大日	三	十	八	六	六	四	三	八	八	六
兌上斷	四	十	九	七	七	四	三	九	九	七
乾皆連	五	十	二	八	六	四	二	六	六	八
坎中連	六	十	九	七	七	四	三	九	九	七
艮上連	七	十	九	七	七	四	三	九	九	七
震下連	八	十	九	七	七	四	三	九	九	七
巽下斷	九	十	九	七	七	四	三	九	九	七
離中斷	十	十	九	七	七	四	三	九	九	七
坤皆斷大日	十一	十	九	七	七	四	三	九	九	七
兌上斷	十二	十	九	七	七	四	三	九	九	七
乾皆連	十三	十	九	七	七	四	三	九	九	七
坎中連	十四	十	九	七	七	四	三	九	九	七
艮上連	十五	十	九	七	七	四	三	九	九	七
震下連	十六	十	九	七	七	四	三	九	九	七
巽下斷	十七	十	九	七	七	四	三	九	九	七

子寅辰午申戌歳

女之分

離中斷	二	九	七	七	三	三	九	九	六	六
坤皆斷大日	三	十	八	六	六	四	三	八	八	六
兌上斷	四	十	九	七	七	四	三	九	九	七
乾皆連	五	十	二	八	六	四	二	六	六	八
坎中連	六	十	九	七	七	四	三	九	九	七
艮上連	七	十	九	七	七	四	三	九	九	七
震下連	八	十	九	七	七	四	三	九	九	七
巽下斷	九	十	九	七	七	四	三	九	九	七
離中斷	十	十	九	七	七	四	三	九	九	七
坤皆斷大日	十一	十	九	七	七	四	三	九	九	七
兌上斷	十二	十	九	七	七	四	三	九	九	七
乾皆連	十三	十	九	七	七	四	三	九	九	七
坎中連	十四	十	九	七	七	四	三	九	九	七
艮上連	十五	十	九	七	七	四	三	九	九	七
震下連	十六	十	九	七	七	四	三	九	九	七
巽下斷	十七	十	九	七	七	四	三	九	九	七

左の幸教... 上の卦と... 下の卦と... 八卦... 流... 變...

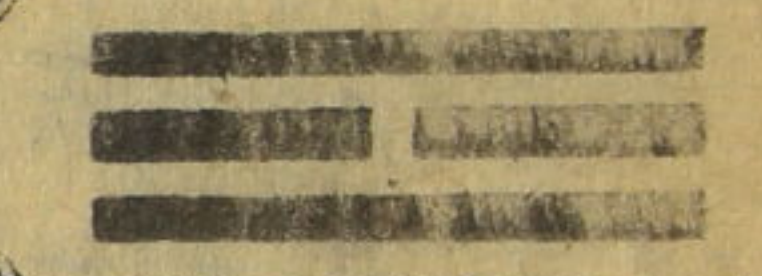
至勢



此身人日

尤三日

断中離



此卦... 離中... 断... 火... 離中... 断... 火... 離中... 断...

真言

庵三髻髻素婁婆訶

ひまのとれ人一代の卦

巽



玉女人

正月



此卦... 巽... 正月... 巽... 正月... 巽... 正月...

震



ひまの神

二月



此卦... 震... 二月... 震... 二月... 震... 二月...

離



大... 神

三月



此卦... 離... 三月... 離... 三月... 離... 三月...

坤



天

四月



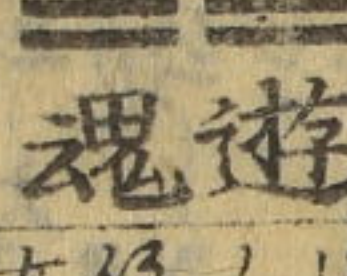
此卦... 坤... 四月... 坤... 四月... 坤... 四月...

兌



天

五月



此卦... 兌... 五月... 兌... 五月... 兌... 五月...

乾



天

六月



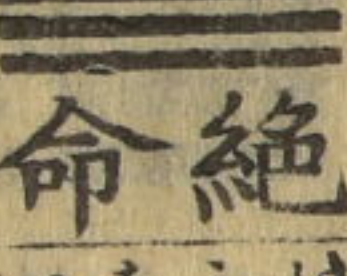
此卦... 乾... 六月... 乾... 六月... 乾... 六月...

坎



神

七月



此卦... 坎... 七月... 坎... 七月... 坎... 七月...

艮



神

八月



此卦... 艮... 八月... 艮... 八月... 艮... 八月...

巽



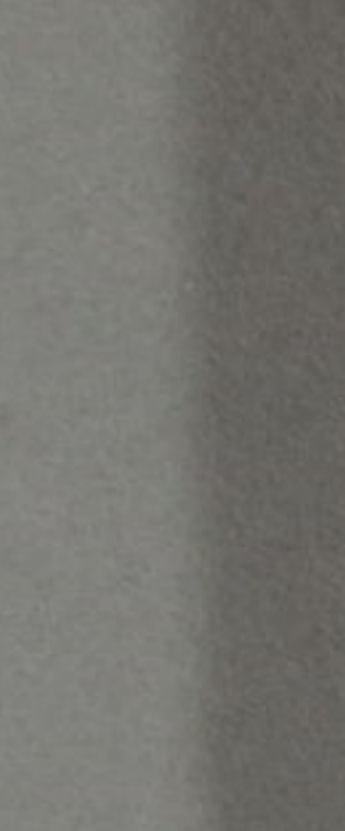
神

九月



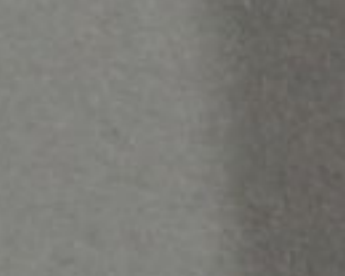
此卦... 巽... 九月... 巽... 九月... 巽... 九月...

震



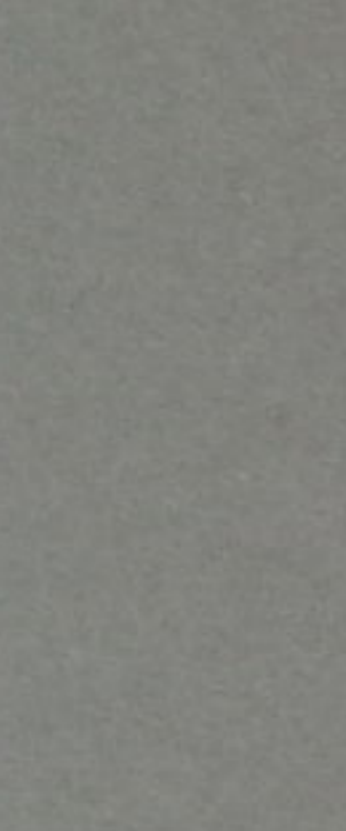
神

十月



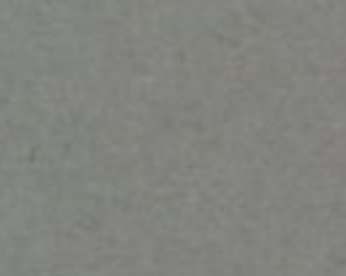
此卦... 震... 十月... 震... 十月... 震... 十月...

離



神

十一月



此卦... 離... 十一月... 離... 十一月... 離... 十一月...

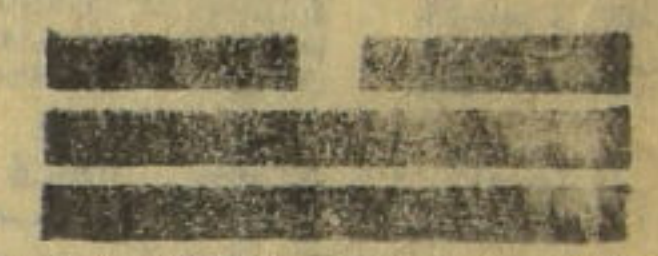
Large vertical columns of handwritten text providing detailed commentary on the hexagrams and their associated months and deities. The text is written in a cursive style and fills the lower half of the pages.

不動



三日十八日

断上兌



いけりあつるうらみ... 断上兌... 断上兌の卦は...

曩莫三曼多縛曰羅散戰摩訶盧灑摩婆頻吒耶咩恒羅吒哈輪 一代の尊心

艮



正月 十二月



い月の番之金性火性の人... 艮の卦は...

震



三月 四月



い月の番之金性火性の人... 震の卦は...

離



五月 六月



い月の番之金性火性の人... 離の卦は...

兌



八月



い月の番之金性火性の人... 兌の卦は...

乾



九月 十月



い月の番之金性火性の人... 乾の卦は...

坎



十一月



い月の番之金性火性の人... 坎の卦は...

八幡



八幡

十五日

乾皆連



真言

唵阿蜜唎多帝際賀羅吽

いぬいこのれ人一代の卦なり

いぬいこのれ人

いぬいこのれ人

いぬいこのれ人

いぬいこのれ人

いぬいこのれ人

いぬいこのれ人

いぬいこのれ人

艮



正月



い月の本の番は木性土性の人なり...

震



二月

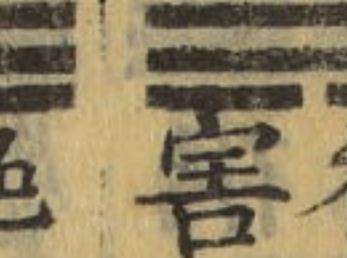


い月の本の番は木性土性の人なり...

巽



三月



い月の本の番は木性土性の人なり...

離



五月



い月の本の番は木性土性の人なり...

坤



六月



い月の本の番は木性土性の人なり...

兌



八月



い月の本の番は木性土性の人なり...

乾



九月



い月の本の番は木性土性の人なり...

坎



十月



い月の本の番は木性土性の人なり...

五ノ二

千手

胎藏界



十七日

坎中



真言

唵阿盧力迦娑婆訶

縁のりれ人一代の卦なり

いけいあま... 縁のりれ人一代の卦なり... 縁のりれ人一代の卦なり

既



正月 青

天 醫

い月の番... 天 醫... い月の番...

震



二月

福 德

い月の番... 福 德... い月の番...

巽



三月 四月

生 家

い月の番... 生 家... い月の番...

離



五月

絶 体

い月の番... 絶 体... い月の番...

坤



六月 七月

絶 命

い月の番... 絶 命... い月の番...

兌



八月

禍 害

い月の番... 禍 害... い月の番...

乾



九月 十月

遊 媿

い月の番... 遊 媿... い月の番...

坎



十一月

遊 年

い月の番... 遊 年... い月の番...

藏空塵

十三日



いあん

連上良



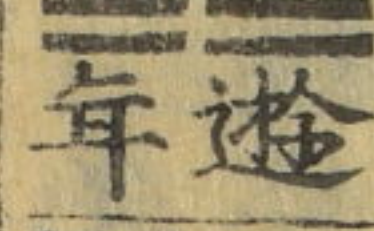
真言 南無阿迦捨揭婆耶喃阿利迦摩利暮利婆婆訶 一代の卦なり

いづひ月
いづひ月
いづひ月
いづひ月
いづひ月
いづひ月
いづひ月
いづひ月

艮



正月 十月



いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の

震



二月



いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の

巽



三月



いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の

離



五月



いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の

坤



六月



いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の

兌



八月



いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の

乾



九月

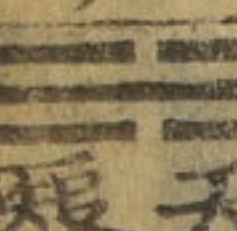


いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の

坎



十月



いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の
いづひ月の番に全性女性の入りたるは性女性の

殊文



連下震



いけりあまらう... 震のさうなるは... 震のさうなるは...

真言

唵阿羅跋耆娜

うのぞれ人一代の卦なり

艮



正月 十月



は月の本の番... 艮のさうなるは...

震



二月



は月の本の番... 震のさうなるは...

巽



三月



は月の本の番... 巽のさうなるは...

離



五月



は月の本の番... 離のさうなるは...

坤



六月 七月



は月の本の番... 坤のさうなるは...

兌



八月



は月の本の番... 兌のさうなるは...

乾



九月 十月



は月の本の番... 乾のさうなるは...

坎



十一月



は月の本の番... 坎のさうなるは...

賢 普



乃多ん日

亡巳月之

斷下巽

真言

唵三摩野沙怛

心これとの人一代乃卦之

艮



正月 土月

絶命

此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。

震



二月

絶命

此月の主の番と本性木性なり。此月の主の番と本性木性なり。此月の主の番と本性木性なり。此月の主の番と本性木性なり。此月の主の番と本性木性なり。

巽



三月 四月

遊年

此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。

離



五月

福德

此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。

坤



六月 七月

天層

此月の主の番と本性土性なり。此月の主の番と本性土性なり。此月の主の番と本性土性なり。此月の主の番と本性土性なり。此月の主の番と本性土性なり。

兌



八月

遊年

此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。

乾



九月 十月

禍害

此月の主の番と本性金性なり。此月の主の番と本性金性なり。此月の主の番と本性金性なり。此月の主の番と本性金性なり。此月の主の番と本性金性なり。

坎



十一月

生家

此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。

此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。此月の主の番と本性火性なり。

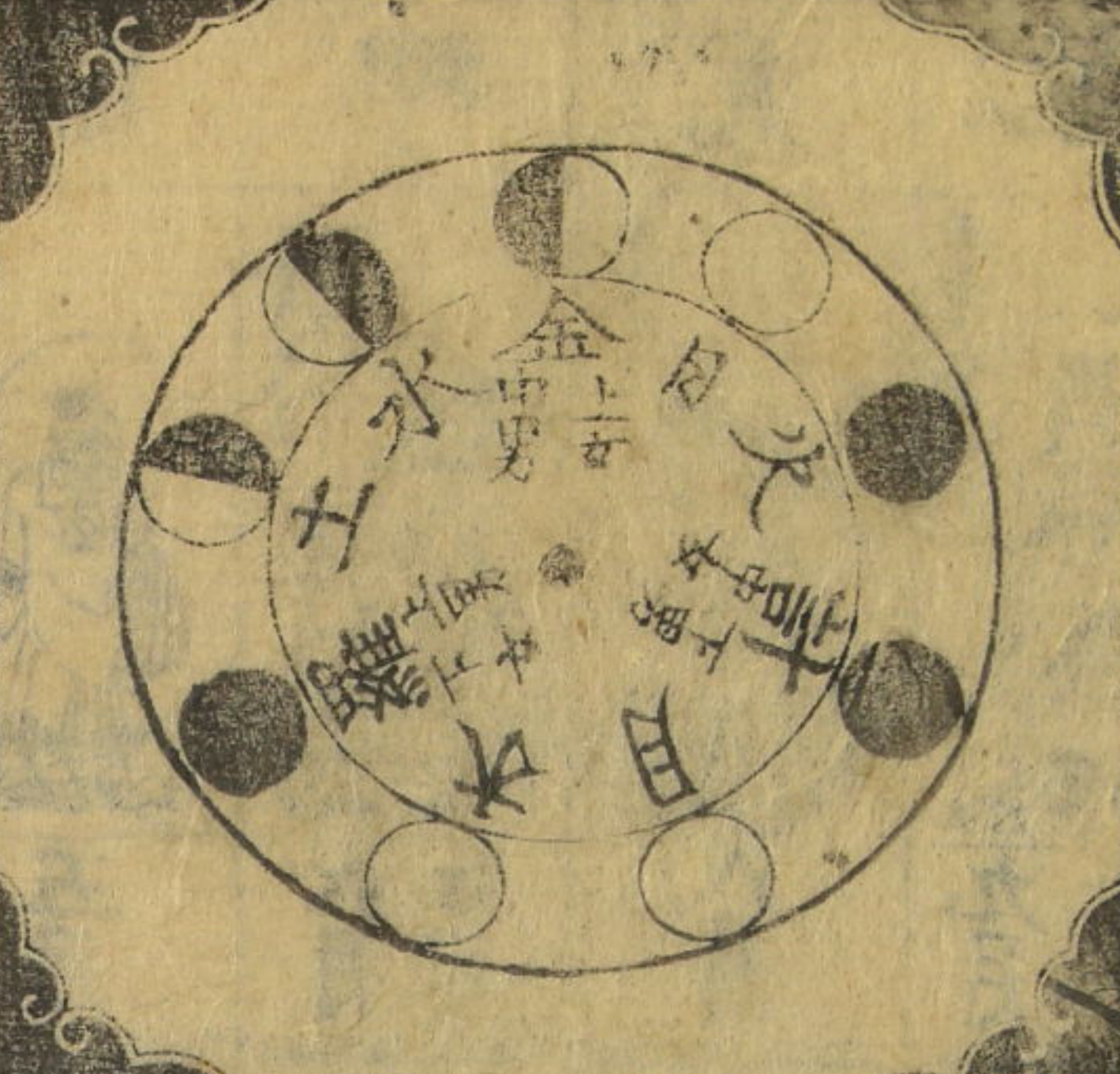
此月の主の番と本性土性なり。此月の主の番と本性土性なり。此月の主の番と本性土性なり。此月の主の番と本性土性なり。此月の主の番と本性土性なり。

此月の主の番と本性金性なり。此月の主の番と本性金性なり。此月の主の番と本性金性なり。此月の主の番と本性金性なり。此月の主の番と本性金性なり。

此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。此月の主の番と本性水性なり。

同日九曜乃星此くりなる事

九のきり乃とるうら男も女も志んやをうりかぞへらざる事
 のありよりあたるひまもかぞへらざる事



中のきり乃併のくりなる初心の人此ためみやうりやとあるこ
 ありくくうら男も女も志んやをうりかぞへらざる事

男 分 女 分

羅睺	土曜	水曜	金星	火星	金星	土曜	木曜	月曜	計都	火曜	金星	土曜	水曜	金星	土曜	羅睺
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七
十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三
六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二
六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三
六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二
六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二
六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三

たのめこれ粒とうらのり乃ふとけえ令あべし

星佛ぐりやう

九曜めぐり此次中

中殿の分

男 之 分

計都	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三
十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一
三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十
五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十
八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二

男 之 分

計都	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三
十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一
三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十
五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十
八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二

右のやうに此物とくらのやうな名を流足合せする

● 羅喉は卯にありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
まじき人ありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
なりけりまじき人ありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
はあふ事あり十月にありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり

● 去曜は卯にありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
なやむありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
をなやむありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
する事ありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
おろ八九ありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
● 水曜は卯にありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
をなやむありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
あもよふありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
ろ子にまじき人ありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり

● 命曜は卯にありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
ひあるろろにありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
あつろろにありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
ろろにありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり

○ 命曜は卯にありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
人もありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
まじき人ありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
なやむありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
あつろろにありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり

● 火曜は卯にありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
あつろろにありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
まじき人ありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
なやむありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり
あつろろにありけるをキルハ人ありけりわづらふ人あり

此は先づの事なむひさしひ事ありひの事あり

計都はりあわさるる事ありひの事あり
せしむる事ありひの事ありひの事あり
ひまじしむる事ありひの事ありひの事あり
あまのひの事ありひの事ありひの事あり
○月曜はひの事ありひの事ありひの事あり
びとれしむる事ありひの事ありひの事あり
こころしむる事ありひの事ありひの事あり
あまのひの事ありひの事ありひの事あり
三月はひの事ありひの事ありひの事あり
○本曜はひの事ありひの事ありひの事あり
さるる事ありひの事ありひの事あり
大さなる事ありひの事ありひの事あり
ひの事ありひの事ありひの事あり
と六月はひの事ありひの事ありひの事あり
おの事ありひの事ありひの事あり

百破軍はりあま

えんあまありひの事あり



本地 目録
本地 目録
本地 目録
本地 目録
本地 目録
本地 目録
本地 目録



△四月 ありひの事あり
七十一 八十一 九十一 二十 二十一 二十二 二十
あまの事ありひの事ありひの事あり
月ありひの事ありひの事あり
ひの事ありひの事ありひの事あり
ひの事ありひの事ありひの事あり
ひの事ありひの事ありひの事あり
ひの事ありひの事ありひの事あり

月七 朔
月八 朔
月九 朔
月十 朔
月十一 朔
月十二 朔
月十三 朔
月十四 朔
月十五 朔
月十六 朔
月十七 朔
月十八 朔
月十九 朔
月二十 朔
月二十一 朔
月二十二 朔
月二十三 朔
月二十四 朔
月二十五 朔
月二十六 朔
月二十七 朔
月二十八 朔
月二十九 朔
月三十 朔

百四十二運之事

七十九

廿九日のん	十	十一	十二	正	二	三	四	五	六	七	八	九
木性	長	沐	官	臨	帝	衰	病	死	墓	絶	胎	養
廿八日のん	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌
火性	正	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
	長	沐	官	臨	帝	衰	病	死	墓	絶	胎	養
	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑
土水性	七	八	九	十	十一	十二	正	二	三	四	五	六
	長	沐	官	臨	帝	衰	病	死	墓	絶	胎	養
	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
金性	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	正	二	三
	長	沐	官	臨	帝	衰	病	死	墓	絶	胎	養
	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰

長いのちながくくさむありのきやうにえんありたひにけなる
 ともあふれやむいどするいづもそつむあつなりとけけそ
 すゝあろそはなり

○たはぬくすいづらうらひまのためてそらるるを忘れすれうか
 ばら人のさかひつらうらむとすなり人よりむらさくさく
 一切のざりといふべからふへうぞくをしなふ矣あしあ命
 かちをいふうけつひよそんす

○そのみもせうあるむいさあつあつれむいぬかか
 宮んかきしけし一家のからしりむあんのあとしあふ
 あんけしそよそれあしんありて人よりちひつらなり
 ○かゆりそそくおけさなるとたあしゆこうあつあつなりけ
 臨んかたがれゆ一あけくらしりぬあんのところさあつそ
 養んんむあそれあしんすこつらむい

あはれなる人々の心

○みづからいふまでもなく、
帝くぬたうーそのあつたうー^{あつた}のあつたうーぞくたあんたうー^{あつた}
らなほちんがうあつたうははらひのあつたうあつたうあつたうあつたう
大人うあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
ろはうあつたうあつたう

○おれがうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたうたう
▲裏あつたうせんがうなりははらひあつたうあつたうあつたうあつたう
すゑなうーははらひあつたうたうたうたうたうたうたうたうたうたう
あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう

○一たうのあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
▲病あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう

○あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
▲死あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう

○あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
▲墓あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう

○あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
▲あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう
あつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたうあつたう

▲ 勝つるさしと能もむひするぬるまひありのうろよりののたのたも
 不ふいんた二あんのおんとうきびやふたありのふまひんが
 ましく志せんらんぢ布うなりありありむろ
 ○ 山さきさきかきまがたちむくもこれたてれさあざめん
 ▲ 春ためんうごくれうらん屋ういけなるふわりらうやうのすじ
 人うののどかむお家生あぢりあすあしくくまんととくむ
 ありありせきうちくんにふううかむ
 ○ 御なひのうけつとせざるはるのふらちとくけけるぬるほのせせ
 ちせられぬ月れうんあ方とひん合かんぐああるぢう

百五

四季

皇帝

春



夏



秋



冬



う
なひ

▲ 皇帝れからあつるせれをあつとせたりとせんよりつとあはすむ
 ちよめんひうやまも人のからとまぐさあおらひぢんまんぞくたり
 又指痛らふるゆ命が女人のあつとせつとのせんあるぢう
 ▲ 皇帝れせんわらせられん志がうあてあふよりより所のさあんとのが
 皇帝はまががらあきけりうあはまの神は合はがさくせんをくむ
 中の板あまが指下他志んあはまの力をえとて人あまはんれは合
 ▲ 皇帝れせんわらせられん志がうあてあふよりより所のさあんとのが
 ちよめんひうやまも人のからとまぐさあおらひぢんまんぞくたり
 又指痛らふるゆ命が女人のあつとせつとのせんあるぢう

四目錄

八卦

得物

待人

出行

生子

善惡

三掃

月捕

病事

呪咀

方角

時指

輕重

失物

見物

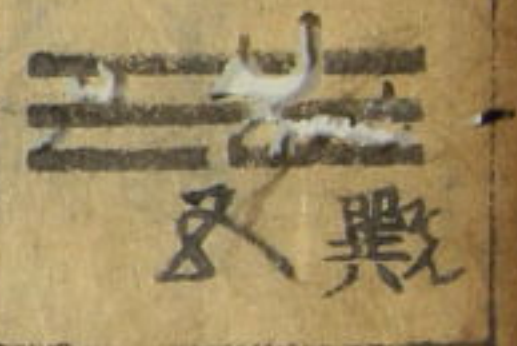
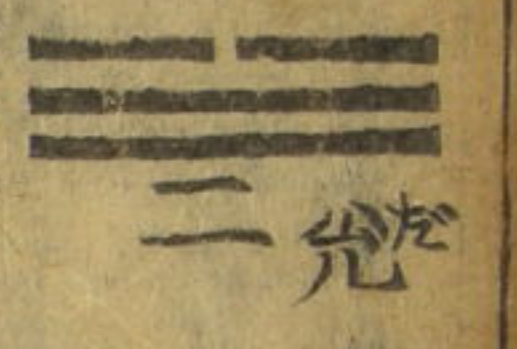
生死

物色

四足

勝負

夢見



かそ

あり

あり

あり

あり

あり

あり

あり

すま

すま

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

くゆる

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

かそ

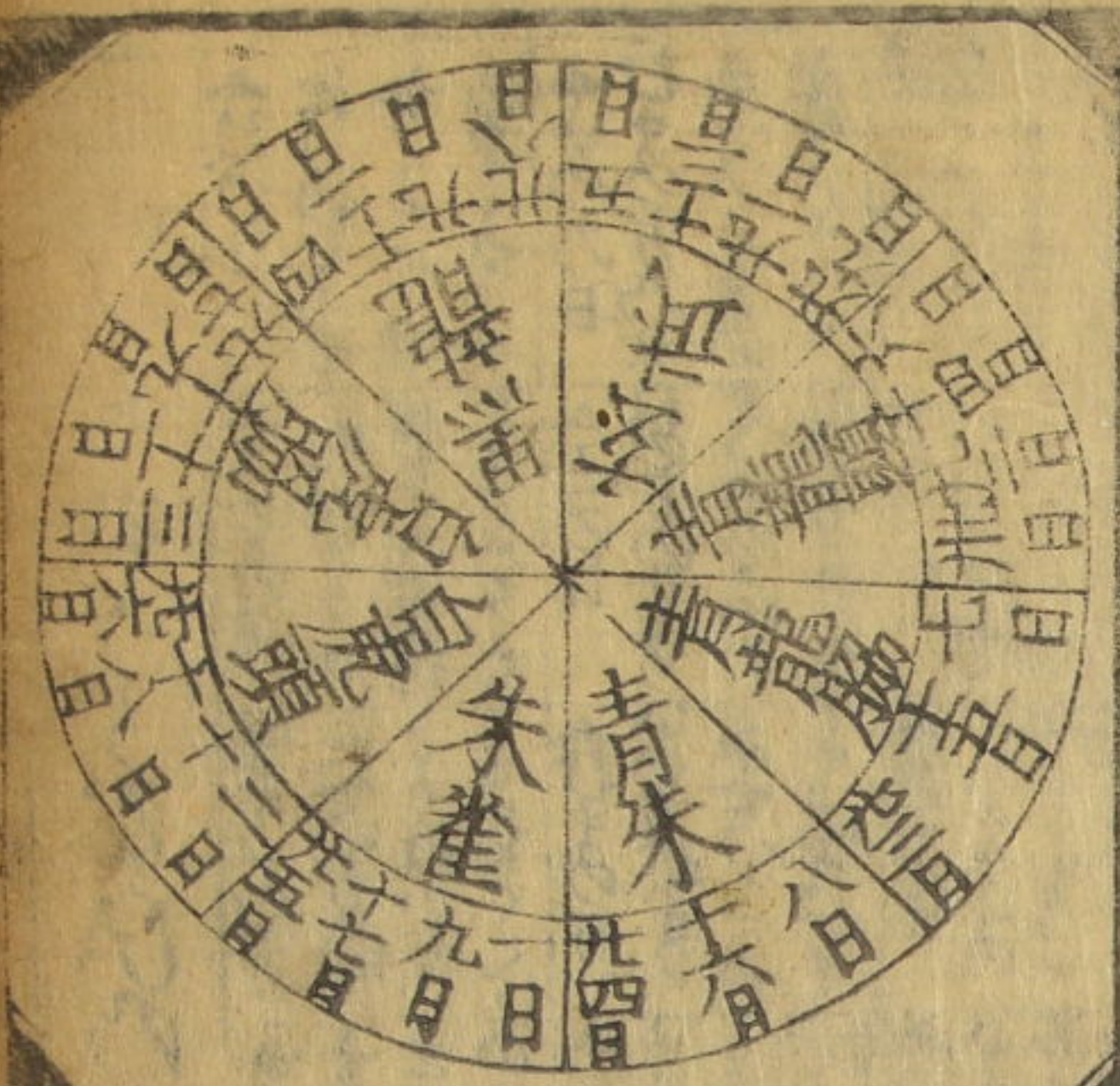
百八 清明流秘傳振之部

此方の流事... 秘傳と稱して... 此れ日ハ其の方なり... 廿九日ハ世の方なり... 廿八日ハ辰の方なり... 廿七日ハ巳の方なり... 廿六日ハ午の方なり... 廿五日ハ未の方なり... 廿四日ハ申の方なり... 廿三日ハ酉の方なり... 廿二日ハ戌の方なり... 廿一日ハ亥の方なり... 廿日ハ子の方なり... 十九日ハ丑の方なり... 十八日ハ寅の方なり... 十七日ハ卯の方なり... 十六日ハ辰の方なり... 十五日ハ巳の方なり... 十四日ハ午の方なり... 十三日ハ未の方なり... 十二日ハ申の方なり... 十一日ハ酉の方なり... 十日ハ戌の方なり... 九日ハ亥の方なり... 八日ハ子の方なり... 七日ハ丑の方なり... 六日ハ寅の方なり... 五日ハ卯の方なり... 四日ハ辰の方なり... 三日ハ巳の方なり... 二日ハ午の方なり... 一日ハ未の方なり...

百八 清明流秘傳振之部



正月	○ 尚宝日	○ 捕狐日	○ 金初日	○ 春陽日	○ 宝桐日	● 初狐日
二月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
三月	○ 朱雀日	○ 白虎日	○ 白虎日	○ 白虎日	○ 白虎日	○ 白虎日
四月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
五月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
六月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
七月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
八月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
九月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
十月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
十一月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
十二月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日



正月	○ 尚宝日	○ 捕狐日	○ 金初日	○ 春陽日	○ 宝桐日	● 初狐日
二月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
三月	○ 朱雀日	○ 白虎日	○ 白虎日	○ 白虎日	○ 白虎日	○ 白虎日
四月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
五月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
六月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
七月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
八月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
九月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
十月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
十一月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日
十二月	○ 天門日	○ 天龍日	○ 天絨日	○ 天陽日	○ 天念日	○ 天凶日

せおうらかひの事

Grid of small text entries and diagrams, including 'これの日' and 'その日' headers, with various handwritten notations and symbols.

夢占之事

Large calendar grid with months (正月 to 十月) and days, containing handwritten text and symbols. Includes a section titled '癖と家此内より'.

漢の羊とあり頂の獅子となりて羊の角と尾と喰切らうと爰見... 爰法師 四つの爰とゆけう一現爰ニふ虚爰ニふ靈爰四ふ心爰あり...



○天のわがとみれ国主の位とゆかりあり... ○其の花と死とみれば... ○日月と... ○おぼゆる... ○おぼゆる...



○ 船日ゆるといふは天孫さまの宮にものかゝり。日田。
つるこれに國主のまゝ。○ 皇女とていふは。○ 皇女は
らき御事。○ 雲あけかきしるまをさるるつゝ。○ 皇女は
○ 神の子とていふは。○ 皇女は。○ 皇女は。

○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。

○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。

○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。

○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。

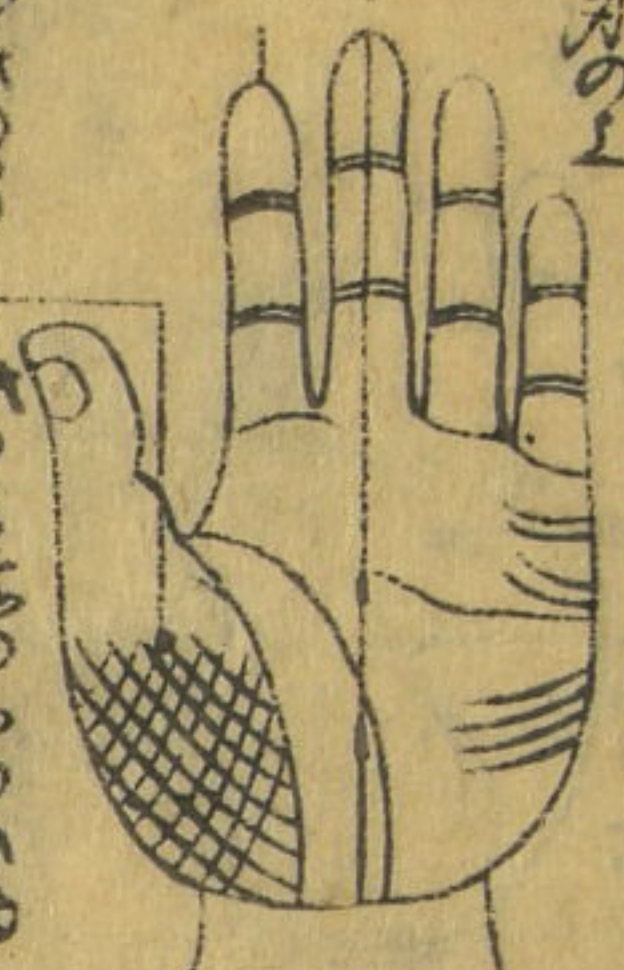
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。

○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。

○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。
○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。○ 皇女は。

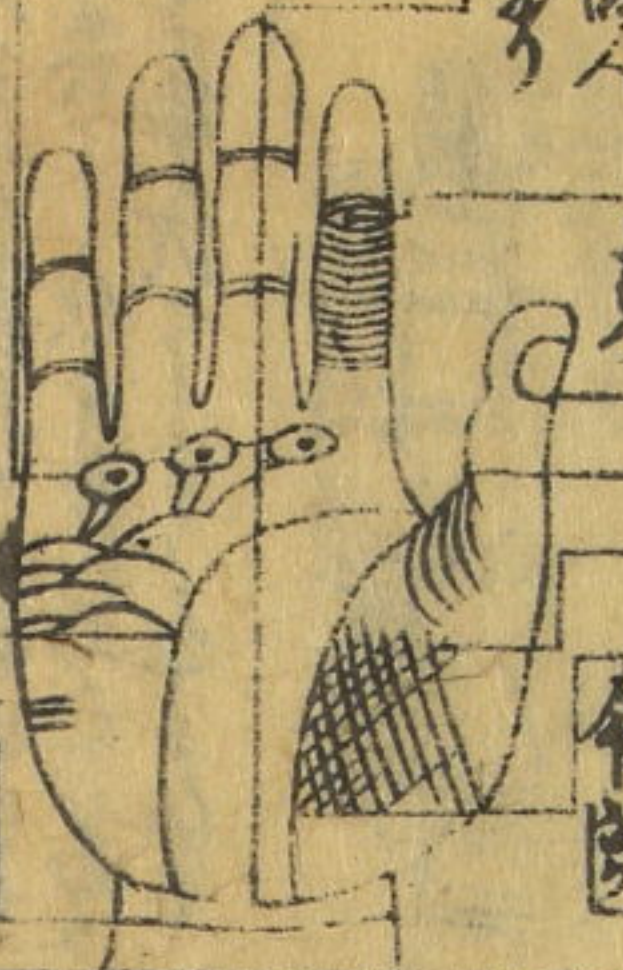
おのりりのかやう有るゆひまはる
 せりりたるは中の中ゆひまはる
 のふりたるは中の中ゆひまはる
 くのふりたるは中の中ゆひまはる
 くのふりたるは中の中ゆひまはる

夫れたより
 全根中
 一代ゆひ
 びりりたるは中の中ゆひまはる
 びりりたるは中の中ゆひまはる
 びりりたるは中の中ゆひまはる



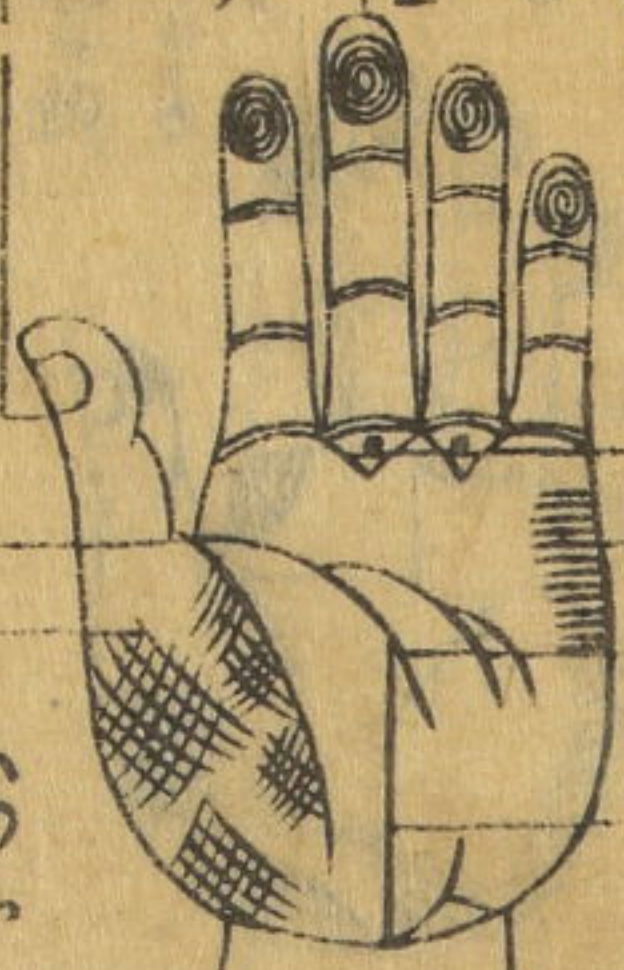
いりりたるは中の中ゆひまはる
 いりりたるは中の中ゆひまはる
 いりりたるは中の中ゆひまはる

夫れたより
 全根中
 一代ゆひ
 びりりたるは中の中ゆひまはる
 びりりたるは中の中ゆひまはる
 びりりたるは中の中ゆひまはる



いりりたるは中の中ゆひまはる
 いりりたるは中の中ゆひまはる
 いりりたるは中の中ゆひまはる

夫れたより
 全根中
 一代ゆひ
 びりりたるは中の中ゆひまはる
 びりりたるは中の中ゆひまはる
 びりりたるは中の中ゆひまはる



いりりたるは中の中ゆひまはる
 いりりたるは中の中ゆひまはる
 いりりたるは中の中ゆひまはる

夫れたより
 全根中
 一代ゆひ
 びりりたるは中の中ゆひまはる
 びりりたるは中の中ゆひまはる
 びりりたるは中の中ゆひまはる



いりりたるは中の中ゆひまはる
 いりりたるは中の中ゆひまはる
 いりりたるは中の中ゆひまはる

清相の相は、
 中をうけたるあり
 毛髪賢のおも
 清相の相は、
 中をうけたるあり
 毛髪賢のおも

壽相の相は、
 中をうけたるあり
 毛髪賢のおも
 壽相の相は、
 中をうけたるあり
 毛髪賢のおも

大相の相は、
 中をうけたるあり
 毛髪賢のおも
 大相の相は、
 中をうけたるあり
 毛髪賢のおも

孤相の相は、
 中をうけたるあり
 毛髪賢のおも
 孤相の相は、
 中をうけたるあり
 毛髪賢のおも



清相



壽相



大相



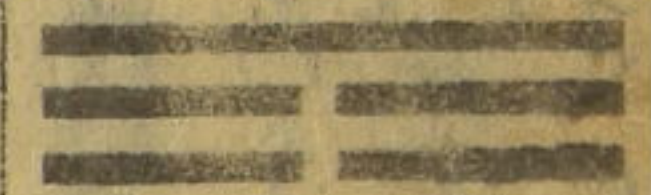
孤相

ともうするは人の七八女ゆく種たゆりまじりてふりか
 のくまのちんどもうりて一考しむらるるつひまなせし
 中へいそつたなとぬと人あつてつひの十七公を男女まう
 てまうひまのちとあつてつひまの女はつてまひふ九公
 つひまの一母八九つとつひまのつひまのつひまのつひまの
 ちのりの命七十九十月はひつひまのつひまのつひまのつひまの
 ちんとまうりて一考しむらるるつひまのつひまのつひまの
 ▲このつひまのつひまのつひまのつひまのつひまのつひまのつひまのつひまの
 ちのりの命七十九十月はひつひまのつひまのつひまのつひまの
 ちんとまうりて一考しむらるるつひまのつひまのつひまの
 ▲このつひまのつひまのつひまのつひまのつひまのつひまのつひまのつひまの
 ちのりの命七十九十月はひつひまのつひまのつひまのつひまの
 ちんとまうりて一考しむらるるつひまのつひまのつひまの

おけりてゆりて種たゆりまじりてふりか
 ちんどもうりて一考しむらるるつひまのつひまのつひまのつひまの
 ちのりの命七十九十月はひつひまのつひまのつひまのつひまの
 ちんとまうりて一考しむらるるつひまのつひまのつひまの
 ▲このつひまのつひまのつひまのつひまのつひまのつひまのつひまのつひまの
 ちのりの命七十九十月はひつひまのつひまのつひまのつひまの
 ちんとまうりて一考しむらるるつひまのつひまのつひまの

ちんどもうりて一考しむらるるつひまのつひまのつひまのつひまの

良上連



己金子亦異同と云けはして今世は...
はれやうら異なりとて又今世の若
のぞりともくもく他方よりこもく
ひとりはゆもごとくおたすのり
まのたぐいも異なりとて今世は
てんあつていしよも異なりとて
本年は休合と云うこと今や如く
二人のりまはりするも若く二人
るもつとて今一命を十三に
のふひんあつてとある。のん
とて本年は良上の人一代の
青帝は休合と云うこと今や如く
本年は休合と云うこと今や如く
はれやうら異なりとて今世は

良上連



生はくさあふあつて一とて今世は
あつても世すこと休合とて
ふといはあふとてあつて一と
まはたぐいなるも一とて今世は
事りそなたがじうあつて一と
一とて一とて今世は
本年は良上の人一代の
とて今世は良上の人一代の

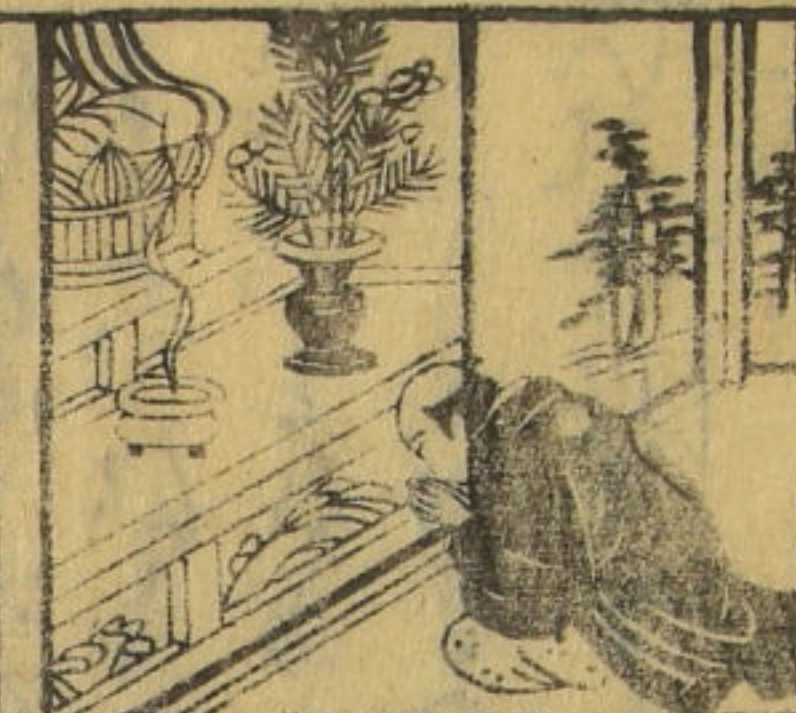
震下連



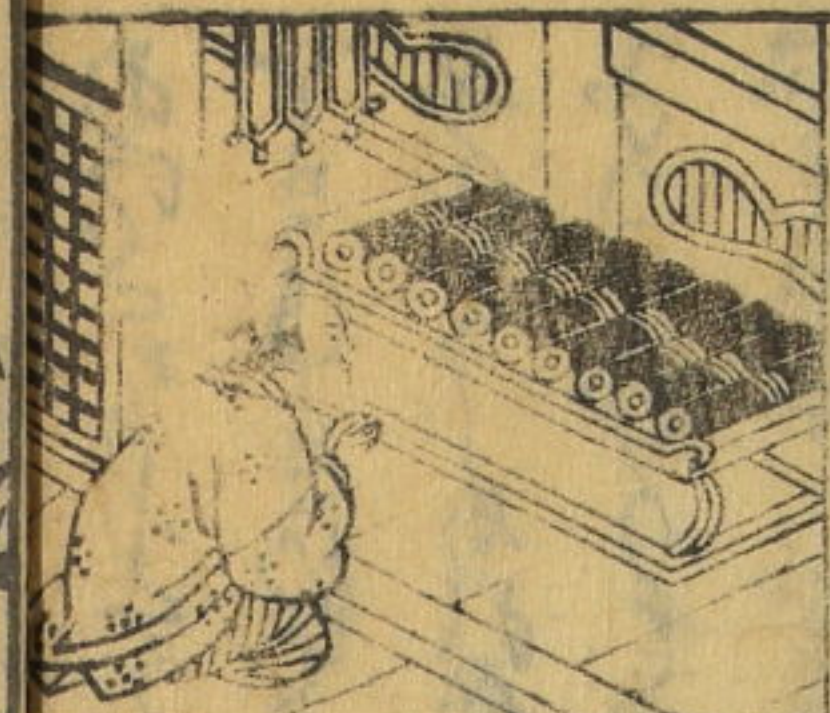
うれ年は良上の人一代の
あつても世すこと休合とて
ふといはあふとてあつて一と
まはたぐいなるも一とて今世は
事りそなたがじうあつて一と
一とて一とて今世は
本年は良上の人一代の
とて今世は良上の人一代の

て二のちりくとぬるに、其八たてといふも、早天かたては、
 わり余の早天かたて、今も、早天かたて、早天かたて、
 めい、早天かたて、早天かたて、早天かたて、早天かたて、
 うい、早天かたて、早天かたて、早天かたて、早天かたて、

正月 正月廿九日の事



正月廿九日、人の世の生は、さう、老成は、さう、
 入れた、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 かな、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 御、さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、



三月廿九日、人の世の生は、さう、老成は、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、



三月廿九日、人の世の生は、さう、老成は、さう、
 りて、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 父母、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、



四月廿九日、人の世の生は、さう、老成は、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、



五月廿九日、人の世の生は、さう、老成は、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、
 さう、さう、さう、さう、さう、さう、さう、



▲九月はまゝの人のまじりて柳の本と十ヶんくまのまじりて柳
 とつげくまのまじりて柳の柳九ヶりつてくまのまじりて柳
 はむいふまじりてまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 柳九ヶりつてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて

▲七月はまゝの人のまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 十ヶりつてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて

▲八月はまゝの人のまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 引よれたまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて

▲九月はまゝの人のまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて

▲十月はまゝの人のまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて

▲十一月はまゝの人のまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて
 まじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりてくまのまじりて



十二月廿九日人...
 十二月廿九日人...
 十二月廿九日人...
 十二月廿九日人...

百七

生れ日せんあくのり

大陽日	朔日	七日	十三日	十九日	廿五日
大陰日	二日	八日	十四日	廿一日	廿七日
天父日	三日	九日	十五日	廿二日	廿八日
天母日	四日	十日	十六日	廿三日	廿九日
天帝日	五日	十一日	十七日	廿四日	卅日
天皇日	六日	十二日	十八日	廿五日	卅一日



大陽日...
 大陰日...
 天父日...
 天母日...
 天帝日...
 天皇日...



天母日...
 天父日...
 天帝日...
 天皇日...
 大陽日...
 大陰日...



▲天帝日ふ生御人の男が死つたまは多んをまへおの
たりてとあやうき事なれぬやうのれどと
そのあやうき事なれぬやうのれどと
そのあやうき事なれぬやうのれどと
そのあやうき事なれぬやうのれどと
そのあやうき事なれぬやうのれどと

百八

生れぬといふ事一并ちしど

上旬 上十日
三九十七
三四五
六七八

中旬 中十日
三九十七
三四五
六七八

下旬 下十日
三九十七
三四五
六七八



▲夜九ツ 孫此御おまると人の命がー 惣た父は多く
とらへる事又兄を御おまるとかたがで御お見
身のかたがたの事 自願を御おまるとかたが
なりだー 又おまるとかたがたの事 御お見
けおまるとかたがたの事 御お見



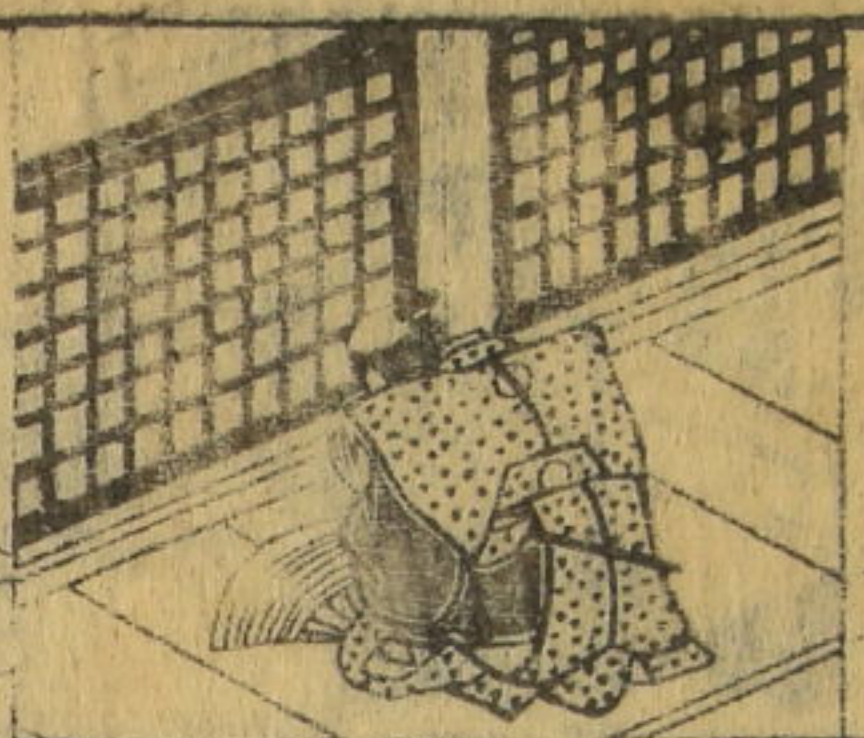
▲夜八ツ 孫此御おまると人の命がー 惣た父は多く
とらへる事又兄を御おまるとかたがで御お見
身のかたがたの事 自願を御おまるとかたが
なりだー 又おまるとかたがたの事 御お見
けおまるとかたがたの事 御お見



▲夜七ツ 孫此御おまると人の命がー 惣た父は多く
とらへる事又兄を御おまるとかたがで御お見
身のかたがたの事 自願を御おまるとかたが
なりだー 又おまるとかたがたの事 御お見
けおまるとかたがたの事 御お見



朝六ツうみ阿ふまきく人のあつたてい申しき
しき玉まはれがじ他玉よ身よまつくだしき
せぞはあはれとむしりあれたてりてあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた



朝七ツうみ阿ふまきく人のあつたてい申しき
しき玉まはれがじ他玉よ身よまつくだしき
せぞはあはれとむしりあれたてりてあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた



朝八ツうみ阿ふまきく人のあつたてい申しき
しき玉まはれがじ他玉よ身よまつくだしき
せぞはあはれとむしりあれたてりてあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた



朝九ツうみ阿ふまきく人のあつたてい申しき
しき玉まはれがじ他玉よ身よまつくだしき
せぞはあはれとむしりあれたてりてあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた



朝十ツうみ阿ふまきく人のあつたてい申しき
しき玉まはれがじ他玉よ身よまつくだしき
せぞはあはれとむしりあれたてりてあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた



朝十一ツうみ阿ふまきく人のあつたてい申しき
しき玉まはれがじ他玉よ身よまつくだしき
せぞはあはれとむしりあれたてりてあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

子
丑
寅
卯
辰
巳
午
未
申
酉
戌
亥

九 庚	五 戊	六 丙	延享 甲	十七 壬	五 庚	九 丙	貞享 甲	十二 壬	三 庚	十三 丙	寛永 甲
大明 辛	六 己	七 丁	二 乙	十八 癸	六 辛	十 丁	二 乙	延寶 癸	寛文 辛	十四 丁	二 乙
一 壬	七 庚	八 戊	三 丙	十九 甲	七 壬	十一 戊	三 丙	二 甲	二 壬	十五 戊	三 丙
二 癸	八 辛	九 己	四 丁	廿 乙	八 癸	十二 己	四 丁	三 乙	三 癸	十六 己	四 丁
四 甲	安永 壬	十 庚	寛延 戊	元文 丙	九 甲	十三 庚	元禄 戊	四 丙	四 甲	十七 庚	五 戊
五 乙	二 癸	十一 辛	二 己	二 丁	十 乙	十四 辛	二 己	五 丁	五 乙	十八 辛	六 己
六 丙	三 甲	十二 壬	三 庚	三 戊	十一 丙	十五 壬	三 庚	六 戊	六 丙	十九 壬	七 庚
七 丁	四 乙	十三 癸	寛曆 辛	四 己	十二 丁	十六 癸	四 辛	七 己	七 丁	廿 癸	八 辛
八 戊	五 丙	明和 甲	二 壬	五 庚	十三 戊	丙	寶永 甲	八 庚	八 戊	廿一 甲	九 庚
寛政 己	六 丁	二 乙	三 癸	寛保 辛	十四 己	大	二 乙	天和 辛	九 己	廿二 乙	十 庚
一 庚	七 戊	三 丙	四 甲	二 壬	十五 庚	大	三 丙	二 壬	十 庚	廿三 丙	十一 辛
二 辛	八 己	四 丁	五 乙	三 癸	十六 辛	大	四 丁	三 癸	十一 辛	廿四 丁	十二 壬

上段

下段

下設

六

元治 甲子 二	九 六 二	十一 十二 十三	九洲 大洲 十一 十二 十三	十三 十四 十五 十六	十三 十四 十五 十六	三 四 五 六 七 八 九 十	三 四 五 六 七 八 九 十	三 四 五 六 七 八 九 十	三 四 五 六 七 八 九 十
---------------	-------------	----------------	----------------------------	----------------------	----------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------



判形抄書

幸判形抄書の行の代り始め
 とす判形抄書の行の代り始め
 とす判形抄書の行の代り始め
 とす判形抄書の行の代り始め

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十

春属長...
 佐部長...
 一の...
 一の...

